

様式第 6 号

図書館システム機能要件確認表

図書館システムの機能要件については、下記要領で記入すること。

- ・各要求機能について、対応可能であれば「○」、カスタマイズで対応可能であれば「×」のいずれかを可否対応欄に必ず記入すること。
- ・対応可否欄に「△」必ず記入した場合、費用等を備考欄に記入すること。

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|----------------------------|----|---|------|----|
| サービス提供範囲 | 1 | 下記サービスレベルについて遵守すること カウンター業務 貸出・返却/資料検索/利用者登録/予約・リクエスト/相互貸借/AV管理 資料管理業務 書誌データ管理/ローカルデータ管理/雑誌管理 発注受入管理 利用者管理 帳票 OPAC(利用者公開端末) 読書手帳(子どもの読書活動推進) Web蔵書検索 メールマガジン レファレンス | | |
| サービス提供時間 | 2 | 図書館業務: 年末年始除く毎日 (メンテナンス等による計画停止がある場合、1週間前までに通知を行うこと) 問い合わせ受付: 年末年始除く毎日 | | |
| サービスセキュリティ | 3 | DMZには利用者氏名、住所、電話番号、性別、電子メールアドレスなどの利用者個人情報は一切保持しないこと | | |
| | 4 | IDとパスワードにより利用認証を行うこと(利用権限の付与) | | |
| | 5 | 3世代以上のデータのバックアップを行うこと。バックアップは国内に退避させること | | |
| サービス監視 | 6 | 10分毎にハードウェアの死活監視を行うこと | | |
| | 7 | 障害監視を10分毎に行い、障害検知時は通知と報告を行うこと | | |
| | 8 | 不正アクセスへの対策を行っていること | | |
| | 9 | DDoS攻撃への対策を行っていること | | |
| | 10 | 利用状況について記録を保存すること(保存期間の明示を行うこと) | | |
| システム要求レスポンス(通信速度100MB時の前掲) | 11 | 貸出・返却時のバーコード読取時のデータ応答: 1秒以内(通信速度100MB時) | | |
| | 12 | インターネット端末より書誌検索キーワード入力時の応答: 10秒以内(ヒット件数100件) | | |
| 書誌の最大登録数 | 13 | 推定所蔵数 25万冊を管理できること(5年後推定) | | |
| ウイルス検出・駆除 | 14 | サーバにコンピュータウイルスの検出・駆除を行う機能を有するソフトウェアを備え、監視を行うこと | | |
| 図書館業務用ソフトウェア | 15 | 日本国内に設置されたデータセンターであること | | |
| システム障害時対応 | 16 | 日本法に準拠し、サービス利用に関連して生じる係争は合意管轄裁判所を日本国内の裁判所であること | | |
| 設備(データセンター) | 17 | Tier 3以上の基準を満たしており、建築基準法の新耐震基準に適合していること | | |
| | 18 | 情報資産は日本国内に保管されること | | |
| | 19 | 当該クラウドサービスの運用実績が10年以上あること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|--------|----|---|------|----|
| | 20 | 当該クラウドサービスを自らが設計、開発及び提供していること | | |
| | 21 | 利用ユーザ数が100以上であること | | |
| 画面 | 22 | 画面のサイズは任意に変更でき、画面サイズに準拠して、画面内の入力項目のサイズも自動的に変更できること | | |
| | 23 | データ登録を行う画面において、必須入力となる項目に任意の背景色、文字色を設定できること | | |
| | 24 | 全画面において、入力カーソルがある項目に任意の背景色、文字色を設定できること | | |
| | 25 | 使用する画面のフォントは任意に設定できること | | |
| | 26 | 全画面にログインIDと処理端末IDが表示できること | | |
| | 27 | 1台の端末で複数画面（5画面以上）が起動できること | | |
| 入力 | 28 | 処理選択・コード値選択がマウスおよびファンクションキーで操作できること | | |
| | 29 | TABキー、Enterキー、上下キーにより各入力項目間のカーソルを移動できること | | |
| | 30 | ボタンが大きく、タッチパネル式であればディスプレイを指でタッチすることによって無理なく操作できること | | |
| | 31 | バーコードリーダによる読み込み時、必ず端末からも確認音が出る（端末で読み込めていない際はエラー音を出せること） | | |
| | 32 | 貸出画面や返却画面の資料明細で、マウスの右クリックによりローカル情報、タイトル情報の修正画面が起動するなど、カウンターでの資料修正の省力化が図れること | | |
| | 33 | データ登録画面において、データ入力中に登録処理を行わないまま、誤って「終了」ボタンをクリックしたとき、確認メッセージが表示できること | | |
| 画面展開 | 34 | 貸出・返却等、各関連業務内の処理画面の個々の展開は、メニュー画面に戻らなくても可能なこと | | |
| | 35 | フインタッチで起動する別画面は、任意に設定できること（4つ以上） | | |
| | 36 | 画面展開の際、不要な確認については求めることなく表示すること | | |
| | 37 | 画面の遷移状況を表示し、その遷移過程にある画面には、1クリックで戻ることができること 例）①貸出処理→②利用者検索画面→③利用者登録画面→④利用者貸出一覧画面の順で遷移したとき、①②③どの画面にも戻ることができること | | |
| 業務メニュー | 38 | 業務メニューの構成は、館および端末毎に変更できること | | |
| | 39 | 職員IDを設定することにより、職員ID毎に業務メニューを設定できること | | |
| | 40 | ログイン情報画面での端末IDの変更可否を制御できること | | |
| | 41 | 基本業務の起動はファンクションキーを押すことで可能なこと | | |
| | 42 | 業務メニューはボタンの配置場所、配置の順番、空きスペースなども各業務毎に設定可能なこと | | |
| | 43 | メニュー画面に長期予約割当/長期予約待ち/予約受取希望日超過/予約割当可能資料/保管期限切れ雑誌/予約割当保留/自動メール送信/特集自動更新が何件あるのかを表示できること また対象資料を一覧で表示できること | | |
| | 44 | メニュー画面の長期予約割当/長期予約待ち/予約受取希望日超過/予約割当可能資料/保存期限切れ雑誌/予約割当保留/特集自動更新の対象資料一覧表示から、資料詳細画面を表示できること | | |
| | 45 | メニュー画面の長期予約割当/長期予約待ち/予約受取希望日超過/予約割当保留の対象資料一覧表示から、利用者詳細画面を表示できること | | |
| 統計処理 | 46 | 貸出や返却の統計データについては、リアルタイムにサーバのデータベースを更新し、日時処理等特別な処理を必要としないこと | | |
| | 47 | 各種統計結果は、CSV形式とPDF形式で出力が可能なこと | | |
| | 48 | 集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること | | |
| | 49 | 図書館要覧に記載している統計情報（分類別蔵書冊数（類目別、一般書／児童書別）、利用状況（一般／児童別の登録者数、延べ利用者数、地区別登録者数）、年度の資料貸出点数（一般書／児童書別、月別））を出力できること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|----------|----|--|------|----|
| | 50 | 利用（貸出・返却・予約）統計表は、日報（時間帯別）・月報（日別）・年報（月別）に出力できること | | |
| レシートプリンタ | 51 | 貸出期限票、予約者連絡票、回送指示票等のレシートを任意の専用プリンタにより出力できること | | |
| | 52 | レシートの出力項目等を設定できること | | |
| ラベルプリンタ | 53 | 利用者ごとの利用状況をシールにて任意の専用プリンタにより出力できること。 出力は利用者自身が操作可能なこと | | |
| | 54 | シールの出力項目等を端末毎に設定できること | | |
| 帳票 | 55 | 帳票システムとして、本図書館の仕様に合わせた背ラベル、バーコード等の印字が可能なこと | | |
| | 56 | 背ラベルはシートラベル（A4サイズ）に印刷できること | | |
| | 57 | 本図書館の仕様に合わせた資料番号バーコードをラベル形式で印刷できること | | |
| | 58 | 本図書館の仕様に合わせた利用者バーコードをラベル形式で印刷できること | | |
| | 59 | ラベルプリンタと連携し、本図書館の仕様に合わせた利用者名、利用者番号、利用者番号バーコードをシールラベルに印刷できること | | |
| | 60 | 必要な帳票内容は、CSV及びPDF形式で出力できること | | |
| 利用者カード | 61 | 本図書館の仕様に合わせたバーコードを印刷した利用者カードが利用可能なこと。 | | |
| | 62 | マイナンバーカードを図書利用券として活用でき、非接触型のICカードリーダにかざすことで、簡単に図書を借りることができること | | |
| | 63 | マイナンバーカード読取時に利用者証明用電子証明書の有効期限切れのチェックをすることも可能なこと | | |
| | 64 | 非接触型ICカード（SuicaやEdy、おサイフケータイなど）を利用できること | | |
| | 65 | スマートフォン画面に利用者カードのバーコードの表示が可能なこと | | |
| 操作ログ | 66 | 処理の起動、検索・データ抽出の実行、プリンタ抽出の実行、テキスト出力の実行、データ更新の実行、パラメータの更新、システムコードの更新をログとして保存すること | | |
| | 67 | 保存したログは以下の条件を指定して抽出することができ、画面または帳票に出力することができること 抽出条件：処理日範囲、ログインID、処理区分、処理端末番号、プログラムID、更新利用者番号範囲 | | |
| システム連携 | 68 | TRCのTOOLと連携できること | | |
| 画面表示 | 69 | 貸出・返却・検索等の画面は、常時Windows画面に表示でき、その切替えがマウス・キーボードにより可能なこと | | |
| | 70 | 画面構成は、誤動作を起こしにくく、疲れを感じにくい作りになっていること | | |
| | 71 | 主要業務（貸出、返却、資料検索、利用者検索）については、各画面の識別が容易にできるように工夫されていること 例）複数画面を起動したとき、画面の一部の背景色を見れば、その画面がどの機能であるか識別できること | | |
| | 72 | 以下の一覧については、表示項目、位置、列幅を任意に設定できること また、1明細に複数行を表示する設定も行えること ・貸出処理画面における貸出中資料の一覧 ・返却処理画面における返却済資料の一覧 ・返却処理画面における貸出中資料の一覧 ・利用者貸出一覧画面における貸出中資料の一覧 ・利用者予約一覧画面における予約中資料の一覧（1利用者に対する予約タイトルの一覧） ・利用者検索における、検索結果利用者情報の一覧 ・資料検索における検索結果書誌情報の一覧 ・資料検索におけるローカル情報の一覧 | | |
| コメント | 73 | 利用者に対して、複数のコメント通知機能を持ち、忘れ物・落し物・その他の案内等を定型文・自由文で随時入れられること | | |
| | 74 | 情報非表示設定時でも、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名／資料名が確認できること | | |
| | 75 | 資料に対して、複数のコメントを通知する機能を持っていること（付録、汚破損状況等を定型文・自由文で随時入れられること） | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|----------|-----|--|------|----|
| | 76 | 資料情報および利用者情報に付加するコメント（定型文、自由文）の数に制限がないこと | | |
| | 77 | コメントの注意音は、貸出時のみ・返却時のみのようにコントロールできること | | |
| | 78 | 資料の定型コメントに重要度（大・中・通常）を設定でき、重要度毎に文字色・背景色が設定できること | | |
| | 79 | 利用者の定型コメントに重要度（大・中・通常）を設定でき、重要度毎に文字色・背景色が設定できること | | |
| | 80 | 資料情報および利用者情報に付加されたコメント毎に登録日と登録館が確認できること | | |
| | 81 | コメントは削除後も任意の期間ログを残すことができること | | |
| 貸出手順 | 82 | 利用者番号と資料番号のバーコード読み込みで完了すること | | |
| 貸出処理 | 83 | 個人・団体・相互等、いずれの貸出処理も同一画面で行えること | | |
| | 84 | 同一画面で館内貸出が行えること。館内貸出はワンタッチで行えること | | |
| | 85 | 資料番号を読み込んだ時点で貸出確定し、データベースを更新すること | | |
| | 86 | 当日中に貸出処理をした資料の貸出取消ができること また、統計データは貸出がされなかったとみなして差し引かれること | | |
| | 87 | 未返却資料を貸出処理すると、自動的に返却処理すること また、チェック画面を表示させ返却後貸出を行う、返却のみ行う、処理を行わないを状況に応じた職員判断により処理を行える設定もできること | | |
| | 88 | 不明資料を貸出処理すると、自動的に不明状態を解除し状態区分を貸出中に変更できること | | |
| | 89 | 資料種別毎、利用者毎の貸出日数、延期日数、延回数、種別毎の貸出点数、合計貸出点数が設定できること | | |
| | 90 | 貸出資料一覧から資料の返却と所蔵状態を不明状態（強制不明）への変更を同時にできること | | |
| | 91 | 予約していた資料を予約していた利用者へ貸し出すと、予約データが消去されること また、予約していた利用者以外に貸し出したとき、予約データは維持されること | | |
| | 92 | 貸出処理時に表示される明細は自館又は自館グループに表示を限定することができること | | |
| | 93 | 利用者貸出一覧の画面にて、貸出館を「全館」「自館」「自館グループ」を切り替えて表示できること尚、初期値の値については、設定で変更できること | | |
| | 94 | 利用者貸出一覧の画面にて、貸出一覧の表示は「貸出館・返却期限順」「貸出館・貸出開始日順」の設定が可能なこと | | |
| | 95 | 移動図書館等での使用のため、ログイン切替等を行わず、貸出画面において容易に貸出館・サービスポイントを指定変更して貸出を行えること | | |
| | 96 | 利用者の貸出上限チェック時に、「紛失申請済」「弁償手続き中」等の貸出資料を、貸出冊数としてカウントしないこと | | |
| | 97 | 弁償手続中の資料に関しては貸出点数に含めないようにして、貸出を許可することが可能なこと | | |
| | 98 | 利用者区分・資料種別・受入区分・受入期間の組み合わせに対して貸出可能かのチェックを行えること | | |
| | 99 | 相互貸借利用者に対して新着資料を貸出した際に貸出可能かのチェックが行えること | | |
| | 100 | 長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の貸出を制限できること また、職員判断により貸出もできること | | |
| 図書館カレンダー | 101 | 図書館カレンダーの休館日を設定することで返却予定日を管理し、また貸出画面での随時変更も可能なこと | | |
| | 102 | 図書館カレンダーは館毎に設定できること | | |
| | 103 | カレンダーに設定する休館日は、貸出日数に含める休館日と含めない休館日が設定できること | | |
| 貸出期間設定 | 104 | 各館毎に貸出期限を設定できること | | |
| | 105 | 貸出画面から任意に利用延長を行え、貸出期限票の印刷を行えること | | |
| | 106 | 貸出中資料の貸出期間延長・継続を任意に設定できること（ただし、予約資料・相互貸借資料等は延期の可否を判断でき、また、設定によっては延期不可とすることもできること） また、貸出期間延長・継続処理は、利用者画面から資料ごと個別にできること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|------------|-----|---|------|----|
| | 107 | 貸出中資料の延長を禁止する貸出日からの日数、延長を許可する返却期限日からの前後日数を任意に設定し、チェック対象となった場合は延期の可否を判断できること | | |
| | 108 | 貸出期間の変更が可能であり、その際にはキーボードからの入力のみならず一週間延長ボタンや、カレンダー画面表示からの選択の2種類が可能であり、入力の簡素化が実現されること（資料区分毎に変更可能なこと） | | |
| | 109 | 貸出資料に予約が存在する場合に貸出期間を自動的に変更できること | | |
| | 110 | 長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の貸出期間延長・継続を制限できること また、職員判断により貸出期間延長・継続もできること | | |
| | 111 | 貸出中資料の延長期間の上限を設定し、期間中は何度でも延長できる運用が可能であること | | |
| 画面展開 | 112 | 貸出基本画面より貸出期限変更、利用者仮登録、利用者検索、貸出・予約一覧、利用者詳細情報へ展開できること | | |
| | 113 | バーコードの読み込みにより、貸出画面/返却画面切替および貸出・返却処理画面の起動が可能なこと | | |
| | 114 | 利用者氏名、電話番号、住所、生年月日、状態区分等から利用者を検索した上で貸出処理へ展開できること | | |
| | 115 | 貸出資料の明細をダブルクリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌詳細、ローカル情報一覧）が表示ができること | | |
| | 116 | 貸出画面上で貸出中一覧を確認し、画面遷移することなく延滞通知を行うことができること | | |
| 紛失登録管理 | 117 | 貸出一覧から継続貸出、強制返却、貸出取消、期限変更、紛失登録等の処理が可能なこと | | |
| | 118 | 紛失登録時から、任意の貸出状態を選択し、紛失日、メモを管理し、紛失資料の管理を行えること | | |
| | 119 | 紛失登録した資料に対する督促対象から除くことができること | | |
| | 120 | 紛失した資料情報、利用者情報の帳票が用意されていること 帳票の出力項目には、発行日、発行館、タイトル名、人名、出版年、分類、価格、ISBN、資料番号、所蔵館を印刷し、利用者に渡すことができるように、切り取り線も併せて印刷できること | | |
| | 121 | 紛失登録画面から、除籍予定入力が可能であり、除籍予定入力日、除籍事由区分の入力が可能なこと | | |
| | 122 | 貸出詳細画面から、紛失資料の弁償受領書を印刷できること | | |
| 表示情報のクリア | 123 | 個人情報保護の観点から、画面上に「表示クリア」ボタンを配置し、随時押すことにより表示情報クリアができること | | |
| | 124 | 個人情報保護の観点から、貸出処理が終わった時点でその利用者への情報は全て画面からクリアされること（処理をしない一定の時間（設定可能）が過ぎると表示情報が自動的にクリアされること） | | |
| 仮登録利用者への貸出 | 125 | 利用者の仮登録機能を有すること（その際、統計に必要な項目である性別・生年月日・地区コード・利用者区分は入力すること） | | |
| | 126 | 利用者登録画面で仮登録から本登録に更新した時に、仮登録の時に作成した統計データの利用者情報を本登録の利用者情報で更新できること | | |
| 家族連携登録 | 127 | 家族連携処理された利用者の場合、複数の利用者カードを連続して読み込み、人数に準じて貸出資料を連続して読み込むことができること | | |
| | 128 | 家族連携登録した利用者の家族の未返却資料一覧がワンタッチで表示できること | | |
| | 129 | 家族連携処理された利用者間の情報は相互に参照できること | | |
| | 130 | 家族連携処理をする利用者は登録時に確認作業を必要とすること | | |
| 画面構成・表示 | 131 | 画面にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面へ展開できること（利用者番号読み込み時の割当ても設定できること） | | |
| | 132 | 利用者番号を読み込んだ時点で、利用者区分、資料種別毎の返却期限および既貸出資料数、延滞資料数、延滞資料（他予約あり）数、督促資料数、予約数、確保済み予約数を表示すること | | |
| | 133 | 既貸出資料（全資料・延滞資料・長期延滞資料・督促資料）の表示/非表示および色設定（文字色、背景色）の設定が可能なこと | | |
| | 134 | 読み込んだ資料の表示/ボタンを変更でき、また表示する項目（資料番号、資料名、貸出期限等）についても、項目や表示幅等が変更できること | | |
| | 135 | 貸出資料一覧表示時、資料種別が表示され、何を何点借りているか確認できること 未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は色別（文字色・背景色）による表示が可能なこと | | |
| | 136 | 個人情報保護の観点から、利用者氏名の表示/非表示を端末毎に予め設定でき、たとえ非表示設定時でも、利用者詳細情報画面に展開することで利用者氏名を確認できること | | |
| | 137 | 個人情報保護の観点から、貸し出した資料名の表示/非表示を予め設定でき、たとえ非表示設定時でも、貸出情報参照により資料名を表示できること | | |
| | 138 | 個人情報保護の観点から利用者番号読み込み後、画面に表示される氏名の表示/非表示の設定ができること | | |
| | 139 | 貸出画面から利用者の予約一覧画面を開き、予約状況の確認、予約取消が行えることまた、グループ予約、セット予約内容の確認、修正も行えること | | |
| | 140 | 利用者の予約一覧画面では、割当済みの予約と未割当の予約の色を任意に設定できること また、未割当の予約については、「自館貸出可」「返却待ち」「発注中」等の状態も色識別表示できること | | |
| | 141 | 貸出処理画面で、利用者の予約割当済資料が画面遷移することなく一覧で確認できること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 | |
|---------|-------|---|---|----|--|
| | 142 | 貸出処理画面で、利用者の貸出中資料・予約中資料の一覧をワンタッチで表示できること | | | |
| | 143 | 画面上に当日の貸出状況（点数・利用人数）をリアルタイムに準じて表示できること（表示する情報は、①その端末での状況、②全館での状況とすること） | | | |
| | 144 | 利用者の貸出状況一覧表示における延滞等の資料状態を色別表示できること | | | |
| | 145 | 貸出処理時は、操作員が利用者番号読み込みと資料番号読み込みを見間違わないこと、入力するフィールドの場所が変更になること また、資料番号フィールドで利用者番号を読み込んだ場合、利用者番号であることを判断して自動的に利用者番号フィールドに遷移し表示させることができること | | | |
| | 146 | 利用者の貸出詳細画面では、紛失登録・督促連絡記録を一括入力できること | | | |
| レシート印刷 | 147 | 貸出処理後、利用者番号・利用者番号バーコード・利用者氏名・貸出資料・返却予定日・発行日・予約待人数・自由文等（端末毎に任意に設定可能）をレシートプリンタにより印刷できること また、「今回貸出のみ」「当日貸出」「利用者全貸出」「レシート未印字のみ」の印刷範囲指定が可能であること | | | |
| | 148 | 貸出明細印刷時に、延滞貸出資料、予約延滞貸出資料、督促貸出資料、予約有り資料、延長済み資料に対して、先頭に特定文字を印刷することができること また、延滞貸出資料と督促貸出資料等、重複した貸出資料の場合、どちらの特定文字を印字するか優先順位を設定できること | | | |
| | 149 | 代表返却期限日をレシート上段に印刷できること 代表期限日は、貸出明細の中で返却期限が最も早いもの、最も遅いものを設定により変更できること | | | |
| | 150 | 貸出明細を資料名、資料番号の両方を印字できること | | | |
| | 151 | 貸出印刷指示時に明細行が0件の場合「あなたが借りている資料はありません」等の固定文字列が印刷できること | | | |
| | 152 | 貸出印刷指示時に広告として企業情報、商品情報などを印刷できること 複数社に対応し、複数社の登録および登録された企業を順番に印刷できること | | | |
| | 153 | 貸出レシートは再出力が可能であること 抽出条件として、全貸出中資料・当日貸出資料のみ・貸出日指定が選択できること | | | |
| | 154 | 貸出レシートを再出力する際、貸出明細の出力順を、貸出開始日順か返却期限日順か選択できること | | | |
| | 155 | レシートに出力する内容は、通常のプリンタへの出力も可能であること | | | |
| | 156 | 貸出処理後、利用者番号・利用者氏名・タイトル・人名・出版社・貸出館・資料種別・分類・返却期限・督促回数・合計貸出点数・発行日・頁数をページプリンタにより印刷できること | | | |
| | 157 | 利用者区分ごとに返却期限票の出力をレシート形式、またはページプリンタ形式に設定できること | | | |
| | 158 | レシートの下部に印字する任意の文言設定については、サポートベンダーに依頼することなく職員自身にて追加、修正操作が可能なこと | | | |
| | 操作員通知 | 159 | バーコード入力以外のフィールドにフォーカスがある場合に、バーコード読み込み時に分かりやすい警告音を鳴らせること | | |
| | | 160 | 通知はアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること | | |
| | | 161 | 貸出画面では、各種確認については確認する業務の性質上、必ずサブウィンドウで表示し、確認漏れのないようにすること | | |
| 162 | | 延滞資料有り・貸出点数オーバー・督促利用者・予約利用者・除籍利用者・コメント有り等を自動的に音やメッセージで操作員に通知できること その際、ウインドウによる通知も任意に行えること | | | |
| 163 | | コメント付き資料、除籍資料・不明資料・予約資料・持出禁止資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること その際、ウインドウによる通知も任意に行えること | | | |
| 利用者カード | 164 | バーコードを印刷した利用者カード、マイナンバーカード、Felica式カード（例：交通系ICカード）、おサイフケータイで貸出が可能なこと | | | |
| | 165 | マイナンバーカードの図書館利用券化は、図書館システム上で紐づけ管理を行わないマイキープ方式および図書館システム上で紐づけ管理を行えるPPID方式のいずれにも対応すること | | | |
| | 166 | マイナンバーカードによる利用者認証時には利用者証明用のPINコード入力を求めることもできること | | | |
| | 167 | 利用者カードのイメージを印刷できること また既に登録済み利用者でも未登録の番号で印刷できること | | | |
| | 168 | 利用者カード紛失への対応のため、登録済み利用者の利用者名、利用者番号、利用者番号バーコードをラベルプリンタで印刷できること | | | |
| オフライン対応 | 169 | ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる貸出処理ができること | | | |
| | 170 | 利用者に対するコメントチェックの際に、表示するコメントによってはチェックしないことが可能なこと | | | |
| 返却手順 | 171 | 返却する資料の資料番号を読み込むだけで返却を確定すること | | | |
| 返却処理 | 172 | 資料番号を読み込んだ時点でデータベースを更新し、完了処理等が不要なこと | | | |
| | 173 | 不明・紛失資料の返却処理を行うと、自動的に無効を解除すること | | | |
| | 174 | 連続で返却するため通知画面を一時的に表示しないようにする機能があること（返却済み資料の表示を残しておくこと） その際、レシート印刷はリアルタイムに行い、チェックされた内容の一覧リストをページプリンタで印字できること | | | |
| | 175 | 返却画面貸出一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却（不明処理）、一覧印刷の各処理ができること（返却期限票が任意に出せること） | | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|----------|-----|---|------|----|
| | 176 | 家族連携登録をした利用者について、ワンタッチで家族の未返却資料一覧が表示できること | | |
| | 177 | 返却資料一覧表示時、貸出中資料が表示されること | | |
| | 178 | 返却手続きの際に、返却資料の保管場所情報を、処理端末の場所コードに変更するか否かを資料種別毎に設定できること | | |
| | 179 | 返却資料の除籍状態区分が除籍予定である場合、返却資料の除籍状態を自動的に通常に戻すか否かを設定が可能なこと | | |
| | 180 | 返却手続きにおける関連利用者へのチェックにおいて、返却利用者と返却利用者の家族連携利用者を対象にするか否かを設定できること 但し家族については、あらかじめ設定した家族連携利用者に限定することが可能なこと | | |
| | 181 | 返却時に予約資料を識別することができること | | |
| | 182 | 借受資料返却画面から、借受返却リストを印刷できること また印刷終了後、対象データを削除するかどうか確認メッセージを表示できること | | |
| | 183 | 相互貸借依頼中資料をチェックし表示ができること | | |
| 画面展開 | 184 | 資料詳細確認・修正処理に移行ができること（複本情報に対しても同じ処理が可能なこと） | | |
| 画面展開 | 185 | 返却画面から貸出画面への展開は、利用者番号を読み込むだけででき、また、バーコードリーダーによる画面切替えもできること | | |
| 画面展開 | 186 | 貸出画面上で貸出中一覧を確認し、延滞通知を行うことができること | | |
| 表示情報のクリア | 187 | 個人情報保護の観点から、処理をしない一定の時間（設定可能）が過ぎると表示情報のクリアができること（「表示クリア」ボタンを配置すること） | | |
| 表示情報のクリア | 188 | 「表示クリア」ボタンを押した場合、設定により実行確認画面を表示し、「はい」「いいえ」の選択が可能なこと | | |
| 画面構成・表示 | 189 | 個人情報保護のため、返却第一画面では利用者名は表示しないこと（利用者番号表示、また当該利用者の未返却資料数および延滞数（うち予約有り数）の表示を端末毎に設定できること） | | |
| 画面構成・表示 | 190 | 読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、またその情報（資料番号・資料名・返却期限等）についても、表示する項目や表示幅等が変更できること | | |
| 画面構成・表示 | 191 | 返却資料の保管場所毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと | | |
| 画面構成・表示 | 192 | 返却資料の受入形態区分毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと | | |
| 画面構成・表示 | 193 | 返却資料の更新後資料状態区分毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと | | |
| 画面構成・表示 | 194 | 返却資料の選択、読み込みにより返却者の詳細が確認でき、更に貸出・予約一覧を参照できること | | |
| 画面構成・表示 | 195 | 画面にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面へ展開できること（資料詳細、貸出情報等の参照機能も割り当てられること） | | |
| 画面構成・表示 | 196 | 返却画面で、画面を切り替えることなく、資料を返却した利用者の未返却資料一覧を表示できること | | |
| 画面構成・表示 | 197 | 未返却資料の一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却（不明処理）、一覧印刷の各処理ができること（返却期限票が任意に出せること） | | |
| 画面構成・表示 | 198 | 返却画面から返却処理を実施した利用者の貸出一覧を表示できること 未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は色別（文字色・背景色）による表示が可能なこと | | |
| 画面構成・表示 | 199 | 画面上に当日の返却点数をリアルタイムに準じて表示できること（表示する情報は、①その端末での状況、②全館での状況とする） | | |
| 画面構成・表示 | 200 | 貸出処理画面で、利用者の予約割当済資料が画面遷移することなく一覧で確認できること | | |
| 画面構成・表示 | 201 | 貸出資料一覧表示時、資料種別が表示され、何を何点借りているか確認できること 未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は色別（文字色・背景色）による表示が可能なこと | | |
| 操作員通知 | 202 | 通知はアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること | | |
| 操作員通知 | 203 | 確実に返却されない場合は、エラー音ができること | | |
| 操作員通知 | 204 | 返却した利用者に関する予約割当て、コメント情報のチェックがかけられること | | |
| 操作員通知 | 205 | コメント付き資料・除籍資料・不明資料・借受資料・予約資料・未貸出資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること | | |
| 返却者確認 | 206 | 資料を借りていた過去数名分の利用者の貸出状況を一覧表示で確認できること | | |
| 返却者確認 | 207 | 利用者から返却された資料について、任意の期間はログ(履歴)を残すことができること。またそれを容易に検索できること | | |
| 返却者確認 | 208 | 返却された資料番号から、最終利用者の確認ができること | | |
| 返却者確認 | 209 | 返却した資料は返却した時点で、画面上の貸出履歴を削除できること（以下の例外を除く） 返却され資料番号から①前回利用者に関り②前々回利用者までに関り③指定した人数に関り④運用に制限をつけ、返却者が確認できること | | |
| 返却者確認 | 210 | 返却者一覧から、当日返却した利用者名を選択し、レシート印刷ボタンを押すことで返却証明書レシートに印刷できること | | |
| 返却者確認 | 211 | 返却証明書には、利用者番号、貸出資料名、返却時刻および指定したメッセージを印刷できること | | |
| 返却者確認 | 212 | 返却者確認画面では、返却資料タイトル・返却日時・返却館・返却利用者番号・返却利用者名・返却利用者電話番号が表示できること | | |
| 返却者確認 | 213 | 返却者確認画面の表示内容を返却資料タイトル・返却利用者番号に制限することができること | | |
| オフライン対応 | 214 | ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる返却処理ができること | | |
| その他 | 215 | 返却資料の明細をダブルクリックまたは右クリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌詳細、ローカル情報一覧）が表示ができること | | |
| その他 | 216 | 利用者を特定することにより、当日の返却済み資料を確認できること | | |
| 予約対応 | 217 | 予約されていた資料が返却され、受渡館が返却処理をした館の場合、その資料は予約割当てとする | | |
| 予約対応 | 218 | 返却された資料が他館受渡資料の場合、回送処理を実施し、本の状態を自動的に①予約回送中②通常回送中③回送中にしないを選択可能にすること | | |
| 予約対応 | 219 | 予約割当て中の資料を再度返却しても、割当て対象の利用者は変わらないこと | | |
| レシート印刷 | 220 | 予約されていた資料の返却時に、予約資料情報および予約割当て対象利用者の情報を予約割当て通知票として自動的に印刷できること | | |
| レシート印刷 | 221 | 予約割当て通知票の最上部に割当て対象利用者の氏名または氏名カナの先頭2文字を出力できること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|--------|-----|---|------|----|
| レシート印刷 | 222 | 予約割当票には、利用者コメントを印字できること また事前設定により、不要な特定コメントの印字を抑制できること | | |
| | 223 | 予約割当通知票の利用者番号のバーコードが出力できること | | |
| | 224 | 返却された資料がチェック対象の保管場所に設定されていたとき配架指示票が印刷できること | | |
| | 225 | 返却された資料が借受資料のとき、借受資料返却指示票を印刷できること | | |
| | 226 | 他館所蔵の資料が返却された場合、所蔵館が異なることを通知し、所蔵館への回送指示票を印刷できること | | |
| | 227 | 予約受渡館として他館を設定している資料が返却された場合、予約回送を通知し、予約回送指示票を印刷できること | | |
| | 228 | 予約割当票、予約回送指示票に印字可能な氏名について、印字部分の一部を「*」等でマスクし秘匿化することが可能であること | | |
| | 229 | 予約割り当てレシートの再出力が可能であること | | |
| レシート印刷 | 230 | 次のレシートに任意に登録した画像を印字できること 返却期限票／利用者番号通知票／資料レシート／書誌レシート／予約状況レシート／タイトル一覧レシート | | |
| | 231 | 300件ヒットで5秒以内 | | |
| 検索方法 | 232 | 資料名・著者名・出版者・ISBN・分類・MARC番号・受賞情報・内容細目等のMARCデータを有効に活用した検索、および図書館独自にて付与したキーワードによる検索、およびタイトルコード・NDC分類・請求記号・別置記号・請求分類・資料番号・発注番号・新刊案内号数（TRC週刊新刊全点案内）を検索項目にできること | | |
| | 233 | 資料区分の複数選択による横断検索ができること | | |
| 検索方法 | 234 | 所蔵の有無、発注中資料の混在検索ができること | | |
| 検索方法 | 235 | 所蔵資料の検索対象に、除籍済み資料も含むことができること | | |
| 検索方法 | 236 | 論理演算子（AND、OR、NOT）を使用し、複数項目間の複合検索が行えること（5項目以上の複合検索に対応すること） | | |
| 検索方法 | 237 | 項目により前方／後方一致、完全一致、中間一致で検索が行えること | | |
| 検索方法 | 238 | 各種検索キーをカナ・漢字・アルファベットの全半角・大文字小文字両方で同じ検索が行えること（同音異語でも検索でき、清音規則は任意に設定できること） | | |
| 検索方法 | 239 | 検索結果が多い場合、全件表示有無の確認により、全件表示/中断時点までの件数表示と、どちらでも一覧に表示できること | | |
| 検索方法 | 240 | 検索中断キーを有するほか、中断件数を設定できること（少ない文字数での検索の際、完全一致検索にするかどうか設定できること） | | |
| 検索方法 | 241 | 資料名・著者名・件名・内容細目など、項目を選択しない形の「全文検索」が行えること | | |
| 検索方法 | 242 | 「全文検索」では、複数の検索語をスペースで区切ることにより、「すべてを含む」または「いずれかを含む」といった掛け合わせができること | | |
| 検索方法 | 243 | 「全文検索」で検索する際、「含めるキーワード」だけでなく「含めないキーワード」を指定することができること 例：「京都」を含み「東京都」を含めない | | |
| 検索方法 | 244 | 全文検索と通常検索（前方一致等）は同一画面で行え、全文検索の条件と通常検索の条件との掛け合わせもできること | | |
| 検索方法 | 245 | 請求記号等の所蔵（ローカル情報）項目を一次キーとして検索できること（書誌項目との複合検索が行えること） | | |
| 検索方法 | 246 | 検索対象の絞り込み条件が設定できること（基本的なこと（資料種別・保管場所・所在館・状態区分等）は第一画面で設定、検索でき、リストアップができること） | | |
| 検索方法 | 247 | 種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入区分、予算区分、除籍状態、貸出開始日の検索およびリストアップができること | | |
| 検索方法 | 248 | 資料検索結果画面から、書名、著者、出版者の各項目を選択することで、選択項目を検索条件とした検索処理を実行することができること | | |
| 検索方法 | 249 | 本に印刷されているISBNバーコードを読み取って検索できること | | |
| 検索方法 | 250 | 1文字検索時には、完全一致となることができるよう設定が可能なこと但し二文字での検索で完全一致とならないように設定が可能なこと | | |
| 検索方法 | 251 | 項目指定の検索で入力された検索語があらかじめ設定した文字数より少ないときは、自動的に完全一致に切り替わって検索できること | | |
| 印刷 | 252 | 検索した一覧をページプリンタ又はレシートプリンタに印字可能なこと | | |
| | 253 | 検索した一覧を紙に出力する以外に、CSVおよびPDF形式に出力可能なこと | | |
| | 254 | レシートプリンタに印刷する際には、指定した明細から件数を指定した一覧印刷が可能なこと | | |
| 絞込条件 | 255 | ローカル項目（資料種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入形態区分、貸出区分、受入先、予算区分、購入区分、媒体区分、利用対象、流通区分、刊行形態）の組み合わせを絞り込み条件として選択可能であり、任意に絞込みのパターンとして上記区分の組み合わせを保持できること | | |
| 典拠検索 | 256 | 内部で管理している典拠番号により、同名異人特定検索、ペンネーム等の別名の自動検索ができること（その関連を一覧画面で確認できること） | | |
| | 257 | 画面から典拠対象の追加・修正・削除が行えること | | |
| | 258 | 外部人名典拠ファイルからの一括登録も可能なこと | | |
| 再検索 | 259 | 検索条件を自動的に保存（保存件数は任意に設定できること）し、後から再検索できること | | |
| 再検索 | 260 | 目録画面にて、目録の次の項目から再検索ができること ・書名（書名/版書名/シリーズ名等）、著者、出版者 ・標目（タイトル、著者、件名） | | |
| | 261 | 再検索の際に、巻号情報を含めずに検索可能なこと | | |
| 画面展開 | 262 | 検索を実行した結果、該当件数が一定の件数以下の場合、一覧画面に自動的に遷移できることまた、その件数は任意に設定できること | | |
| 画面展開 | 263 | 検索結果一覧画面から複本（ローカル）一覧画面、発注画面、目録画面、予約画面、資料詳細画面へ展開できること | | |
| 画面展開 | 264 | 複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名、電話番号等が確認できること | | |
| 画面展開 | 265 | 複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで貸出一覧、予約一覧画面へ展開し、貸出中資料、予約中タイトルの確認ができること | | |
| 画面展開 | 266 | 複本一覧は開架場所に保管されている資料を優先して上位に表示できること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|----------|-----|--|------|----|
| 画面展開 | 267 | 書誌一覧画面、もしくは、複本一覧画面から、書誌登録、所蔵登録、予約・発注処理の各画面に展開できること | | |
| 画面展開 | 268 | 検索結果一覧画面で明細行をダブルクリックすることにより、予め設定された画面（複本一覧・目録表示・予約一覧・発注一覧・資料詳細）に展開できること | | |
| 画面展開 | 269 | 検索結果一覧画面から、MARCタグ単位の書誌情報一覧画面に遷移できること | | |
| 画面展開 | 270 | 複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで督促連絡依頼表の出力画面へ展開し、督促連絡依頼表を貸出館のプリンタに直接出力できること | | |
| 画面展開 | 271 | 複本一覧画面にて、以下の項目の日付を時分秒まで表示できること 最終利用日/資料確認日/最終更新日/初回不明確認日/最終不明確認日/不明本発見日/除籍予定処理日/除籍処理日/貸出日/督促日/督促連絡日/前回貸出日/前回返却日/前回継続貸出日 | | |
| 画面構成・表示 | 272 | 検索結果を随時保存（件数は任意に設定）し、選択することにより最新の検索結果を表示すること（同一館内であれば他の端末でも保存した結果を利用できること） | | |
| 画面構成・表示 | 273 | 特定書誌の資料の所蔵資料・未所蔵資料・発注中資料等の状態が検索結果から把握できること | | |
| 画面構成・表示 | 274 | 書誌の詳細情報を目録カード形式で表示できること（目録表示は目録カードと同じく、全てのデータをカード形式で表示すること） | | |
| 画面構成・表示 | 275 | 検索結果の書誌一覧内に代表サブタイトルを表示できること また、選択中の書誌に対応する全サブタイトルを一覧外に表示できること | | |
| 画面構成・表示 | 276 | 検索結果から所蔵状態（不明資料・除籍・貸出中等）の把握・修正が行えること | | |
| 画面構成・表示 | 277 | 検索結果一覧画面から検索結果一覧の印刷が行えること（すべての結果が1度で印刷可能なこと） | | |
| 画面構成・表示 | 278 | 検索結果一覧画面は登録順（最新が上）を常態とし、出版年順・書名順・著者名順・分類順（任意に設定可能なこと）に並び替えでき、かつそれぞれ昇順・降順に並び替えができること | | |
| 画面構成・表示 | 279 | 並び替えは、検索結果一覧画面から他画面に展開した後、再度検索結果一覧画面に戻ってきてても、変更した並び替えのままであること | | |
| 画面構成・表示 | 280 | 検索結果一覧で現在貸出可能、貸出中、他館貸出可能、所蔵なし資料等を背景色または文字色で色分けして表示できること | | |
| 画面構成・表示 | 281 | 検索結果として表示する項目は任意に設定できること | | |
| 画面構成・表示 | 282 | 予め画像や音声を登録した資料であれば、資料詳細画面からその画像や音声を参照することができること | | |
| TOOL連携 | 283 | 図書館システムとTOOLサーバと連携する機能があること 図書館所蔵情報と同時に未所蔵資料の検索をTOOLサーバと連携して実施し、結果の一覧を同一画面に表示できること | | |
| TOOL連携 | 284 | 書名・著者名・件名などAND/ORの条件による複合検索処理が行えること | | |
| TOOL連携 | 285 | フリーワード検索と条件指定検索（書名・著者名・件名など）とを掛け合わせた検索ができること | | |
| TOOL連携 | 286 | 検索結果のタイトル一覧は、所蔵データと未所蔵データ（TOOLのデータ）の色を変えて表示できること | | |
| TOOL連携 | 287 | 検索結果の詳細情報の表示が行えること | | |
| TOOL連携 | 288 | 詳細情報からデータのダウンロードを行い図書館データベースに取り込むことが可能なこと | | |
| 住所入力 | 289 | 住所ファイルを有し、住所コードにより住所登録できること（住所コードの入力または選択により、住所・郵便番号が自動的に入力されること） | | |
| 住所入力 | 290 | 郵便番号入力確定時、住所ファイルから該当する住所コードを参照し、自動表示できること | | |
| 住所入力 | 291 | 住所コードの入力簡易ツールとして住所コード名（カナ）もしくは郵便番号を入力すると該当資料コード一覧が表示し、簡易にコード入力が可能なこと | | |
| 住所入力 | 292 | 広域地域の住所コード・地区コードが入っていて、利用者登録時に利用できること | | |
| 住所入力 | 293 | 日本郵便提供の郵便番号データを利用して郵便番号入力時に住所表記の自動表示をすることができること | | |
| 住所入力 | 294 | 郵便番号データはあらかじめ設定したスケジュールで自動的にダウンロードすること | | |
| 電話番号 | 295 | 複数の電話番号および連絡先を登録できること（この時、「保護者」「通勤先」などと別枠で入力でき、表示されること） | | |
| 登録補助 | 296 | 利用者の登録、既存利用者の登録情報の修正、登録利用者の除籍、利用者カード紛失等の再発行処理を行えること | | |
| 登録補助 | 297 | 家族の2人目を登録すると、以降は電話番号入力後ワンタッチで利用者データを複写し、氏名・生年月日・性別等を直すだけで次々に登録することができること（前入力データのコピー機能を有すること） | | |
| 登録補助 | 298 | 利用者の検索機能を有すること | | |
| 登録補助 | 299 | 登録（修正）処理した利用者の履歴を参照ことができ、次利用者の登録・修正処理にそのデータを活用できること | | |
| 登録補助 | 300 | 利用者を修正する場合、同じ電話番号や住所を持つ利用者、または家族連携した利用者の情報も一括で修正できること | | |
| 登録補助 | 301 | 生年月日を西暦でも和暦でも登録できること また西暦で登録した場合、次回利用者情報を読み込み時は、登録したときと同じ形式（和暦、西暦）で表示されること | | |
| 登録補助 | 302 | 生年月日ではなく年齢を登録する運用もできること | | |
| 登録補助 | 303 | 利用者名入力時に、自動カナ振り機能を有すること（漢字のローマ字入力に基づいて振れること） | | |
| 仮登録 | 304 | 貸出画面からワンタッチで利用者仮登録画面に展開し、簡易に利用者仮登録を行うことができること | | |
| 仮登録 | 305 | 利用者仮登録画面の初期入力値を、利用者番号に設定可能であり、仮登録時に利用者番号以外の入力を省略することが可能なこと | | |
| 再発行 | 306 | 図書館利用データ（貸出状況等）を引き継いでの利用者カードの再発行・番号置換ができること | | |
| 有効期限 | 307 | 利用者の有効期限の管理を行うことができること尚、貸出、返却画面にて、有効期限切れ前の事前チェックが可能なこと | | |
| 二重登録チェック | 308 | 利用者氏名カナ、電話番号、生年月日で二重登録利用者のチェックを自動的に行えること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|---------|-----|--|------|----|
| パスワード登録 | 309 | 利用者のメールアドレスやパスワード情報の登録ができ、Web情報の提供・利用者端末等での貸出・予約のシステムと連動できること | | |
| パスワード登録 | 310 | E-Mailは最大6個まで登録できることまた、予約確保時の連絡先、督促の連絡先として、どのE-Mailでも指定できること | | |
| パスワード登録 | 311 | パスワード入力画面にてパスワードを表示するか、非表示とするか選択可能なこと | | |
| パスワード登録 | 312 | パスワードの非表示の際に職員のみ確認ができるように、パスワード入力により表示する機能を用意していること | | |
| パスワード登録 | 313 | ランダムなパスワードを発行できる仮パスワード機能を有すること 但し桁数等の基本情報を設定することができること | | |
| パスワード登録 | 314 | 仮パスワードには、数字・英文字・記号が使用できること | | |
| パスワード登録 | 315 | 仮パスワードには、有効期限を設けることができること | | |
| パスワード登録 | 316 | 利用者登録画面上でパスワードの参照・編集ができないように制限できること | | |
| コメント管理 | 317 | 利用者情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること | | |
| コメント管理 | 318 | 利用者情報に付加するコメントの表示順を設定できること | | |
| コメント管理 | 319 | 利用者情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること | | |
| コメント管理 | 320 | 利用者コメントの種類により、利用者バーコードスキャン時に①毎回表示するコメント②表示後消去するコメント③チェックしないコメントの選択が可能なこと | | |
| コメント管理 | 321 | 画面上削除されたコメントでも、ログは任意の期間保存できること。またそれを容易に検索できること。 | | |
| 管理情報 | 322 | 管理項目として、データ登録館、データ登録サービスポイント、カード発行日、貸出形態区分、状態区分、除籍日、再発行回数、最終利用日の管理を行えること | | |
| 管理情報 | 323 | 利用者毎の過去5年分の利用実績（貸出数、利用回数）を参照できること | | |
| 管理情報 | 324 | 利用者情報の更新履歴を確認できること | | |
| その他 | 325 | 利用者カードの有効期限を更新するとき、次のいずれの日付を基準として起算するか設定できること ・カードの更新を行った日から起算する ・カードの有効期限日から起算する ・カードの利用者の生年月日から起算する | | |
| その他 | 326 | 利用者詳細情報画面を表示する際に、利用者の個人情報を非表示状態で画面表示でき、また非表示/表示がワンタッチで切替できること | | |
| その他 | 327 | 年齢は生年月日から自動計算し表示すること（年次処理等は不要であること） | | |
| その他 | 328 | 生年月日ではなく年齢の登録で運用する場合でも、年次処理などによる年齢加算の処理は不要であること | | |
| その他 | 329 | 利用者カードの有効期限は自由に設定できること | | |
| その他 | 330 | 利用者登録画面ではマイナンバーカード基本4情報（氏名・性別・生年月日・住所）を活用し登録することも可能なこと | | |
| その他 | 331 | 利用者情報の更新履歴（処理日時・処理端末・更新対象・更新前内容・更新後内容・操作者）が確認できること | | |
| その他 | 332 | 利用者画面において、個人情報の表示、非表示を切り替えることができること | | |
| 予約処理 | 333 | 予約資料の現在の状態（利用可能、予約中等）の管理が行えること（貸出予定日を表示できること） | | |
| 予約処理 | 334 | 利用者からのリクエストに対応するため、未所蔵資料への予約登録ができること | | |
| 予約処理 | 335 | 未所蔵資料への予約登録時に、利用者区分・資料区分ごとで予約可否のチェックが行えること | | |
| 予約処理 | 336 | 利用者単位の予約上限数を設定し、新規予約登録時に上限追加する場合は確認画面を表示し、続行・中断が選択できること | | |
| 予約処理 | 337 | 利用者単位の予約上限数は、資料区分（図書、雑誌、AV）の任意の組み合わせにより設定できること | | |
| 予約処理 | 338 | 特定した予約（割当て済みを含む）を解除できること | | |
| 予約処理 | 339 | 割当て済みの予約の割当て状態を解除したとき、予約データを残すか取り消すか選択できること | | |
| 予約処理 | 340 | 割当て済みの予約の割当て状態を解除し、予約データを残すとき、予約順位を最下位にするか割当て待ちの最上位にするか設定できること | | |
| 予約処理 | 341 | 予約処理画面から利用者を検索し、利用者の設定ができること | | |
| 予約処理 | 342 | 受付館・受渡館を設定することができ、貸出・返却業務とも完全連携が行えること | | |
| 予約処理 | 343 | 本人が借りている資料のタイトルには予約できないようにも、できるような設定が利用者区分毎にできること | | |
| 予約処理 | 344 | 本人が予約しているタイトルには予約できないようにも、できるような設定が利用者区分毎にできること | | |
| 予約処理 | 345 | 館同士の資料の予約連絡をシステムと連携したメッセージ機能により行えること また、受け取った内容に関して確認や拒否等を行えることができ、関係する資料、利用者の詳細情報を表示、修正することができること | | |
| 予約処理 | 346 | 資料一覧画面で複数の資料を選択し、連続・一括予約を行えること | | |
| 予約処理 | 347 | グループ予約（複数資料に任意の予約数を割当てること）が可能で、課題図書等への予約管理が可能なこと | | |
| 予約処理 | 348 | グループ予約で複数の課題図書等の特定資料に予約をしても、任意の冊数貸し出すと他の特定の資料の予約も自動的に削除されること | | |
| 予約処理 | 349 | 予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること | | |
| 予約処理 | 350 | 通常予約済みの複数予約情報を後からグループ予約、セット予約ができること | | |
| 予約処理 | 351 | グループ予約をあとからセット予約または通常予約に変更できること | | |
| 予約処理 | 352 | セット予約をあとからグループ予約または通常予約に変更できること | | |
| 予約処理 | 353 | シリーズ本など、あらかじめセットとして扱うタイトルのグループを登録することにより、同じグループのタイトルが予約された際に自動的にセット予約にすることができること | | |
| 予約処理 | 354 | 任意の予約を選択し、予約取消が行えること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|--------|-----|---|------|----|
| 予約処理 | 355 | 予約取消を行う場合、「取り置き期限超過」等の予約取消理由を登録できること | | |
| 予約処理 | 356 | 取消した予約を確認することができること | | |
| 予約処理 | 357 | 取消した予約を復元することができること | | |
| 予約処理 | 358 | 貸出可能資料が自館になく他館にはある場合に、他館に対して予約回送依頼のメッセージをシステムから送信し、管理することができること | | |
| 予約処理 | 359 | 予約回送依頼は各館毎に設定した優先順位に準じて回送依頼送信されること | | |
| 予約処理 | 360 | 予約回送依頼は依頼を実施した館で取消できること | | |
| 予約処理 | 361 | 予約回送依頼は依頼を受けた館で拒否できること。拒否した場合は、次に優先順位の高い館に対して自動で回送依頼送信ができること | | |
| 予約処理 | 362 | 予約取消が行われた場合、回送依頼は自動で取消されること | | |
| 予約処理 | 363 | 予約の連絡について連絡済、未連絡を管理でき、連絡済から一定期間（任意設定可）貸出されない予約資料を抽出・割当解除することで次の予約者が利用可能なこと | | |
| 予約処理 | 364 | 利用者番号と資料番号の入力による現物予約機能を有し、この場合でも複本管理予約ができること（予約棚にある資料を使い直接予約をかけられること） | | |
| 予約処理 | 365 | 複本がある場合、全ての複本に予約がかかり、どれか一冊が返却された時点で予約通知が行えること | | |
| 予約処理 | 366 | 相互貸借資料の予約にはチェック機能が働くこと（予約対象のタイトルの全てが借受資料のときに注意メッセージが表示されること） | | |
| 予約処理 | 367 | 資料番号を入力し、特定資料に対して予約が可能なこと | | |
| 予約処理 | 368 | 特定資料に対して予約された資料は他の利用者に対して予約割当されないこと | | |
| 予約処理 | 369 | 特定資料に対して予約をした場合は、複本が返却されても予約割当されないこと | | |
| 予約処理 | 370 | 長期延滞利用者への予約割当制限ができること | | |
| 予約処理 | 371 | 長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約割当を制限できること また、職員判断により予約割当もできること | | |
| 予約処理 | 372 | 予約メモの入力ができること | | |
| 予約処理 | 373 | 予約メモは定型文や手入力、またはその両方の組み合わせができること | | |
| 予約処理 | 374 | 利用者情報等で定型文の予約メモを登録することができ、設定登録されている利用者の予約時には、自動的に予約メモの登録がおこなえること | | |
| 予約処理 | 375 | 予約メモ情報は、返却時に出力されるレシートに印字可能であること | | |
| 予約処理 | 376 | 資料予約入力画面及び利用者予約一覧画面に、「代表サブタイトル」を表示できること | | |
| 予約管理情報 | 377 | 予約処理の受付館、受渡館の選択が可能なこと | | |
| 予約管理情報 | 378 | 予約受付および受け渡し場所は、設定により館またはサービスポイントの指定が選択できること | | |
| 予約管理情報 | 379 | 窓口での予約受付場所は、各端末に設定された館またはサービスポイントを初期表示すること | | |
| 予約管理情報 | 380 | 予約の新規登録時、予約受付場所は、設定により初期値を変更できないようにすることができること | | |
| 予約管理情報 | 381 | 予約受付場所の初期値を変更できない設定の時でも、登録後に修正が可能なこと | | |
| 予約管理情報 | 382 | 予約した際の予約日時を管理することができること | | |
| 予約管理情報 | 383 | 予約順位は受付方法(窓口・館内OPAC・WebOPAC)にかかわらず、登録した順番とする | | |
| 予約管理情報 | 384 | 予約順位の変更ができること ただし、予約受付時間は変更されないこと | | |
| 予約管理情報 | 385 | 予約受付時間を変更しても、予約順位は変更されないこと | | |
| 予約管理情報 | 386 | 予約された資料の割当方法（返却待ち、借受待ち、発注待ち等）の情報を管理できること | | |
| 予約管理情報 | 387 | 受取希望日の入力、管理が可能なこと | | |
| 予約管理情報 | 388 | 受取希望日を過ぎた予約がある場合、貸出画面や返却画面でメッセージが表示され、利用者に確認ができること また、受取希望日を過ぎた予約リストを出力し、予約の一括取消ができること | | |
| 予約管理情報 | 389 | 予約申込方法（来館予約、電話予約、OPAC予約、Web予約）の管理ができ、申込方法毎の統計資料が出力可能なこと | | |
| 予約管理情報 | 390 | 予約資料を所在している館では、予約割当対象資料のリストを出力できること | | |
| 予約管理情報 | 391 | 資料の予約回送が無駄なく行うため3件の予約に対して各館で重複して資料を確保しないよう、予め設定した受渡館毎の優先順位を加味して自館に所在している予約割当対象資料のリストが出力されること | | |
| 予約管理情報 | 392 | 資料の予約回送が無駄なく行うため複数資料の予約に対して各館で重複して資料を確保しないよう、予め設定した受渡館毎の優先順位を加味して自館に所在している予約割当対象資料のリストが出力されること | | |
| 予約管理情報 | 393 | 予約在庫リストの出力時、予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること | | |
| 予約連絡管理 | 394 | 予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象：全件、割当済のみ、未割当のみ、未所蔵資料のみ ・範囲指定：予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分、予約状態 また予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること ・予約リストにはISBN番号および利用者番号のバーコードを印字できること | | |
| 予約連絡管理 | 395 | 予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力を管理および連絡方法により、メール一括送信、八ガキ作成が可能であること ・抽出条件：利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法（電話、E-Mail等） | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|-----------|-----|---|------|----|
| 予約連絡管理 | 396 | 予約在庫リストの出力時、予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること | | |
| 予約連絡管理 | 397 | 予約在庫リストの出力時の表示条件として、閉架書庫の資料を優先して上位に表示することができること | | |
| 予約制限 | 398 | 予約したタイトルに対して、割当対象館を特定館のみと指定することができること | | |
| 予約制限 | 399 | 予約したタイトルに対して、割当対象館を複数指定できること | | |
| 予約制限 | 400 | 予約したタイトルに対して、割当対象館を市町村等グループで指定できること | | |
| 予約制限 | 401 | 特定タイトルに対して、期間を指定した予約受付制限を実施すること | | |
| 予約制限 | 402 | 予約割当制限にて、特定資料に対して予約割当を不可とする設定が可能なこと | | |
| 予約制限 | 403 | 予約割当を禁止したい（予約させたくない）資料を特定の別置/分類や保管場所で指定することが可能なこと | | |
| 予約制限 | 404 | 長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者が予約しようとした場合、メッセージを表示して予約できないようにできること また、職員判断により予約受付もできること | | |
| 予約制限 | 405 | 長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約を制限できること また、職員判断により予約受付もできること | | |
| 予約上限 | 406 | 予約の上限設定に、申し込み方法（窓口/電話/OPAC/Web）およびタイトルの媒体区分毎に予約の上限設定が可能なこと | | |
| 予約上限 | 407 | 1日に予約可能な件数を制限できること（申し込み方法毎） | | |
| 予約上限 | 408 | 予約の上限設定に資料識別ごとに予約の上限設定が可能なこと | | |
| 予約上限 | 409 | 予約したタイトルに対して、割当対象館を市町村等グループで指定できること | | |
| 予約変更・取り消し | 410 | 予約変更・取り消しの履歴を保存し、帳票に出力可能なこと | | |
| 予約変更・取り消し | 411 | 予約取り消しはOPAC、Web等の予約された種類により、抽出することが可能なこと | | |
| 画面展開・表示 | 412 | 返却や受入等により利用可能となった利用者を抽出し、予約連絡一覧を表示できること | | |
| 画面展開・表示 | 413 | 検索結果から予約処理に展開することができること | | |
| 画面展開・表示 | 414 | 予約者の予約・貸出状況（予約数・貸出数・督促数・延滞数）を予約受付画面に表示できること | | |
| 画面展開・表示 | 415 | 予約者の一覧を、氏名をつけて出力できること | | |
| 画面展開・表示 | 416 | 予約者の一覧は、「今回予約登録中の利用者のみ表示する」「予約登録された全利用者分を表示する」をワンクリックで切り替えできること | | |
| 優先順位 | 417 | 基本的に予約した順で優先を決めるが、予約順位の変更が簡単な処理で可能なこと | | |
| 予定入力 | 418 | 他館からの相互貸借の予定を入力でき、相互貸借の依頼表を出力可能なこと | | |
| 受入処理 | 419 | 借受資料を自館資料登録と同様の操作で登録、修正が行えること（借受資料登録用の専用画面は持たないこと） | | |
| 受入処理 | 420 | 他館からの相互貸借の予定を検索し、該当する資料を特定し、受入処理して一般利用者に対する貸出ができること | | |
| 受入処理 | 421 | どこの館からどの資料を借りているか画面で表示できること（借受館へ返却済みか等の状態も表示できること） | | |
| 受入処理 | 422 | 借受資料の登録は、事前に借受の予定を入力していなくても、資料到着後に登録して受入処理ができること | | |
| 受入処理 | 423 | 借受予定入力の際には、タイトル、著者名、出版社、出版年月、ISBN、分類番号、資料番号、請求記号、借用館、借用予定日等が入力できること | | |
| 受入処理 | 424 | 借受予定の資料に予約がかけられること | | |
| 借受先への返却期限 | 425 | 借受資料単位に借受先への返却期限を管理できること（一般利用者に対して貸出をする際に、他館資料の貸出期限と自館資料の貸出期限をチェックし、他館資料の貸出期限が短い場合、貸出期限が短い場合、貸出時に注意メッセージを表示できること） | | |
| 返却処理 | 426 | 他館資料を返却した際に、借りた履歴を残すためにタイトル情報を保存するかどうかを選択できること（次回再利用できること） | | |
| 返却処理 | 427 | 他館資料を返却した際に、誤って次の予約を登録している場合に、予約割当を抑制すること等により、相互貸借資料の再貸出を制限できること | | |
| 履歴 | 428 | 他館資料の借受状況を、タイトルや借受日等から検索でき、どこの図書館から借りたかの管理が可能なこと | | |
| 履歴 | 429 | 借受状況を表示する際、文字色・背景色の設定ができ、借受期限切れ資料の確認が容易にできること | | |
| 統計処理 | 430 | 年報（相互貸借館毎・分類毎の貸出点数、借受点数）や実績一覧（借受タイトル・貸出タイトル）が印刷できること | | |
| その他 | 431 | 借受資料登録時は借受先が入力できること | | |
| その他 | 432 | 借受け先別順の資料リストが出せること | | |
| 書誌データ管理 | 433 | 典拠データを利用してMARCデータを登録できること | | |
| 書誌データ管理 | 434 | TRCMARC（Uタイプ・Tタイプ）ともに完全に対応すること（人名典拠・内容細目・学習件名等の各種サブファイルの登録・活用ができること） | | |
| 書誌データ管理 | 435 | MARCの各種書誌情報（記事・内容等）を登録・修正することができ、検索対象とすることができること | | |
| 書誌データ管理 | 436 | 日本図書館協会が販売しているMRDF9(日本十進分類法新訂9版機械可読ファイル)を分類検索用データとして取り込むことができること | | |
| 書誌データ管理 | 437 | NDCは「8版と10版」というように複数のNDCを登録・管理でき、メインで使用するNDCを設定することができること | | |
| 書誌データ管理 | 438 | 書誌情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること | | |
| 書誌データ管理 | 439 | 書誌情報に付加するコメントの表示順を設定できること | | |
| 書誌データ管理 | 440 | 書誌情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること | | |
| 書誌データ管理 | 441 | 複本資料も、既登録資料のMARCデータを利用して登録できること | | |
| 書誌データ管理 | 442 | 図書館独自のキーワード情報を登録できること。 CSVファイルでの一括登録ができること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|------------|-----|---|------|----|
| 書誌データ管理 | 443 | TOOLiや静岡県立図書館のMARCデータを直接取り込んで書誌を登録できること、また、TOOLiのダウンロード機能を利用して、個々の書誌情報の登録が可能なこと | | |
| TRC-MARC | 444 | 「日本目録規則2018年版」(NCR2018)による、TRC_TタイプのMARC改定版に対応すること 増設されたタグ情報の登録やタグ情報を用いた検索が行えること | | |
| TRC-MARC | 445 | TRCMARC (Uタイプ) に対応すること (人名典拠・内容細目・学習件名等の各種サブファイルの登録・活用ができること) | | |
| TRC-MARC | 446 | TRCMARC (Tタイプ) に費用を追加することなく対応できること | | |
| TRC-MARC | 447 | TOOLi等のMARCデータを直接取り込んで書誌を登録できること、また、TOOLiのダウンロード機能を利用して、個々の書誌情報の登録が可能なこと | | |
| TRC-MARC | 448 | 定期的にTOOLiサーバ上のMARCデリバリファイルを確認し、新規(未処理)のMARCデータファイルが配信されている場合には自動的にダウンロードおよびMARC変換・展開処理を実行できること | | |
| TRC-MARC | 449 | TOOLiサーバ上のMARCデリバリファイルの自動的にダウンロードおよびMARC変換・展開処理は電子書籍MARC (抽出MARC、更新MARC) も実行できること | | |
| TRC-MARC | 450 | JIS78で入力された文字とJIS90で入力された文字を同一視できること 例) 「蟬しくれ」と「蟬しくれ」 | | |
| AV-MARC | 451 | 各種AV-MARCに対応していること | | |
| AV-MARC | 452 | 各種情報を可変長にして登録し、検索することができること | | |
| AV-MARC | 453 | 複数所蔵資料のデータ管理が行えること | | |
| JAPAN/MARC | 454 | 国立国会図書館が提供する『JAPAN/MARC MARC21フォーマット』形式のMARCファイル取込みができること | | |
| JAPAN/MARC | 455 | 図書登録画面からNDL-OPAC (http://iss.ndl.go.jp/api/) の情報を検索する画面に展開し、検索した結果をコピーして書誌の登録ができること | | |
| JAPAN/MARC | 456 | NDL-OPAC (http://iss.ndl.go.jp/api/) の情報はNDC10版データを登録ができること | | |
| 資料管理帳票 | 457 | 所蔵資料の資料区分・統計分類毎に点数・金額を集計し、内訳表を出力できること | | |
| 資料管理帳票 | 458 | 集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること | | |
| 資料管理帳票 | 459 | 統計データをExcelと連携し、2次加工できること | | |
| その他 | 460 | タイトル情報登録画面にて人名情報・著述区分を変更した際に、責任表示欄に変更した内容が反映されること | | |
| その他 | 461 | 資料番号またはISBN番号またはMARC番号が記載されたテキストファイルを読み込み、対象の書誌情報の一覧を画面表示や帳票出力できること | | |
| ローカルデータ管理 | 462 | ローカル情報で「所蔵館」「所在館」等の詳細情報を管理して分館連携に対応できること | | |
| ローカルデータ管理 | 463 | ローカル情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること | | |
| ローカルデータ管理 | 464 | ローカル情報に付加するコメントの表示順を設定できること | | |
| ローカルデータ管理 | 465 | ローカル情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること さらに変更が可能なこと | | |
| ローカルデータ管理 | 466 | 資料バーコード読み込みによるローカル情報の連続変更および条件の範囲指定による一括変更ができること (所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与/変更、コメントの付与等) | | |
| ローカルデータ管理 | 467 | 資料番号が登録されたテキストファイルの読み込みによるローカル情報の連続変更ができること (所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与/変更、コメントの付与等) | | |
| ローカルデータ管理 | 468 | 借受資料登録時は借受先が入力できること | | |
| ローカルデータ管理 | 469 | 資料の寄贈者情報の入力ができ、寄贈者単位での冊数確認および一覧表の印刷が可能なこと | | |
| ローカルデータ管理 | 470 | 複本のデータ管理が行えること | | |
| ローカルデータ管理 | 471 | 資料の除籍・復籍処理が連続で行えること | | |
| ローカルデータ管理 | 472 | 蔵書点検用携帯端末で読み込んだバーコード情報により、任意の複数の各区分の一括変更ができること | | |
| ローカルデータ管理 | 473 | 資料の新規登録時、資料種別がバーコード上の特定の桁位置の値から判別できる場合は自動的に表示すること | | |
| ローカルデータ管理 | 474 | 資料の新規登録時、資料種別が書誌情報のNDC分類または別置から判別できる場合は自動的に表示すること | | |
| ローカルデータ管理 | 475 | 資料の新規登録時、請求記号を書誌情報の下記の項目をもとに初期値を表示できること NDC分類、刊行形態区分、著者名カナ、書名カナ、巻冊記号、別置記号 | | |
| ローカルデータ管理 | 476 | 資料に付与された定型コメントを抽出し、一括削除できること | | |
| ローカルデータ管理 | 477 | 貸出期限日・所蔵館・資料種別・除籍対象外貸出状態区分で特定した未返却資料を一括で除籍できること | | |
| ローカルデータ管理 | 478 | 未返却資料一括除籍処理の検索結果一覧で、前回除籍実行したときの条件を保存し、初期値としてその条件を表示できること | | |
| 蔵書点検 | 479 | 蔵書点検は所蔵館方式ではなく、所在館方式で管理していても実施できること | | |
| 蔵書点検 | 480 | 蔵書点検は全館一斉だけでなく、一部の館のみ点検処理を行い、他の館は通常通り開館できること | | |
| 蔵書点検 | 481 | 蔵書点検準備処理として、点検開始日・所蔵館・保管場所・資料種別・別置・分類を指定して、対象の資料を点検対象とする | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|--------|-----|--|------|----|
| 蔵書点検 | 482 | 蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること | | |
| 蔵書点検 | 483 | 蔵書点検準備処理を複数設定する際は、条件の重複がないかチェックできること | | |
| 蔵書点検 | 484 | 蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること 設定された条件は、変更・削除が可能なこと | | |
| 蔵書点検 | 485 | 蔵書点検期間中でも発注や受入ができること | | |
| 蔵書点検 | 486 | 蔵書点検の際、除籍・未登録・配架場所相違等のチェックリストを出力できること | | |
| 蔵書点検 | 487 | 蔵書点検の際、不明資料・未返却資料については、自動的に通常状態にし、返却処理を行えること | | |
| 蔵書点検 | 488 | 蔵書点検は蔵書点検用携帯端末、業務用クライアントで作業ができること | | |
| 蔵書点検 | 489 | 不明更新を行う前に不明候補資料の一覧を印刷できること | | |
| 蔵書点検 | 490 | 任意指定回数以上の不明資料を一括で除籍に変更できること | | |
| 蔵書点検 | 491 | 蔵書点検中に通常返却処理を実施することが可能であり、返却された資料は点検済みとなること | | |
| 特集資料管理 | 492 | 特集毎に資料番号の読み取り、または、POT等使用して出力した資料番号データを取り込むことにより、資料が登録できること また、登録済みの特集に資料番号の読み取りにより追加・削除ができること | | |
| 特集資料管理 | 493 | 特集へ登録した資料の所蔵館、保管場所を一括で変更できること また、特集終了後は変更前の所蔵館、保管場所を一括で戻ること | | |
| 特集資料管理 | 494 | 特集を一時停止できること 一時停止した場合、登録資料の所蔵館、保管場所が変更前の内容に一括で戻ること | | |
| 特集資料管理 | 495 | 一時停止した特集を復帰処理させることで、特集を再開できること 例) クリスマス特集を来年度も再利用できる | | |
| 特集資料管理 | 496 | 特集資料管理画面では特集の状態、特集内容、登録資料数、開始日、終了予定日、所蔵館、保管場所を一覧表示できること | | |
| 特集資料管理 | 497 | 特集へ登録している資料一覧を印刷できること | | |
| 特集資料管理 | 498 | 特集資料管理画面から、特集へ登録している資料の目録情報が参照できること | | |
| 特集資料管理 | 499 | 特集の開始・停止・再開・終了は自動で行われず、任意のタイミングで手動で行えること また、自動で停止/終了する運用も可能であること | | |
| 特集資料管理 | 500 | 複数の特集を同時に管理できること | | |
| 特集資料管理 | 501 | 1点の資料を複数の停止中の特集に登録できること | | |
| 特集資料管理 | 502 | 特集に資料を登録したとき、他の特集に登録済みの資料であるかチェックされること | | |
| 特集資料管理 | 503 | 現在有効になっている特集に登録済みの資料を他の特集に登録した場合、登録済みの特集名を表示でき、新規の特集に登録変更するか変更しないか選択できること | | |
| 特集資料管理 | 504 | 特集毎に開始日/終了予定日に合わせて自動的に所蔵館、保管場所の変更を開始/停止する設定ができること 手動での動作に戻すこともできること | | |
| 特集資料管理 | 505 | 特集毎に年齢別の貸出冊数統計が出力できること | | |
| その他 | 506 | 借受け先別順の資料リストが出せること | | |
| その他 | 507 | 弁償待ち資料の一覧が作成、印刷できること | | |
| その他 | 508 | 資料情報更新結果印刷についてソート条件として請求記号を選択できること その際、資料種別+請求記号順にてソートできること | | |
| その他 | 509 | 除籍資料リスト一覧画面、除籍予定リスト及び除籍リストに以下の情報が出力できること 全館の複本冊数/全館の利用可能冊数/最終利用日/通算貸出累計数/本年度貸出累計数 | | |
| 雑誌管理 | 510 | タイトル書誌一覧を表示することによりタイトルを特定し、タイトル/巻号の書誌連携が行えること | | |
| 雑誌管理 | 511 | タイトルと巻号情報が分けて管理されること | | |
| 雑誌管理 | 512 | 各種データを可変長にて登録し、検索できること | | |
| 雑誌管理 | 513 | 最新号の登録時に直前号の巻号情報を初期表示できること | | |
| 雑誌管理 | 514 | 逐次刊行物(雑誌等)の欠号・増刊管理ができること | | |
| 雑誌管理 | 515 | 最新号受入登録時に、「通巻番号」の全号との比較で欠号チェックを行い、チェックメッセージを表示できること | | |
| 雑誌管理 | 516 | 逐次刊行物等の製本(合本)処理ができること また、製本された資料のタイトル情報は移行され資料検索できること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|---------|-----|--|------|----|
| 雑誌管理 | 517 | 最新号を受け入れたタイミングで、それ以前の巻号は自動的に貸出可能となること | | |
| 雑誌管理 | 518 | 最新受入が「別冊」や「増刊号」の場合、最新号とは別扱いとし、「定期号」の最新号を貸出禁止の状態を保つことができること | | |
| 雑誌管理 | 519 | 雑誌タイトル毎に保存期間、開架期間、貸出禁止期間の設定ができること | | |
| 雑誌管理 | 520 | 雑誌タイトル毎に保存区分の設定ができること 保存区分には「永久保存」の設定もできること | | |
| 雑誌管理 | 521 | 雑誌のローカルデータで、開架から開架に移動する期日を管理できること | | |
| 雑誌管理 | 522 | タイトル一覧画面より巻号(バックナンバー)一覧画面を表示できること | | |
| 雑誌管理 | 523 | 漢字で入力された項目を自動的に分かちして、中間検索対象にできること | | |
| 雑誌管理 | 524 | 内容記事入力の際には、1つの書誌に対して制限なく登録できること | | |
| 雑誌管理 | 525 | 検索結果一覧で、巻次・巻号順、出版年に整列する為の序数化の自動付与ができること | | |
| 雑誌管理 | 526 | 所蔵登録画面でタグ等の切替により1画面にて、複本情報・貸出状況・予約状況・発注状況を表示できること | | |
| 外部公開 | 527 | おすすめ等の外部公開蔵書データの作成に特集資料管理機能を利用できること | | |
| その他 | 528 | 貸出期限日・所蔵館・資料種別・除籍対象外貸出状態区分で特定した未返却資料を一括で除籍できること | | |
| その他 | 529 | タイトル情報登録画面にて人名情報・著述区分を変更した際に、責任表示欄に変更した内容が反映されること | | |
| その他 | 530 | 未利用資料の一覧が印刷できること また「最終貸出日」「最終確認日」を出力できること | | |
| その他 | 531 | 未返却資料一括除籍処理の検索結果一覧で、前回除籍実行した時の条件を保存し、初期値としてその条件を表示できること | | |
| その他 | 532 | 資料番号またはISBN番号またはMARC番号が記載されたテキストファイルを読み込み、対象の書誌情報の一覧を画面表示や帳票出力できること | | |
| 発注・受入確認 | 533 | 発注状況、受入状況が画面で確認できること | | |
| 発注・受入確認 | 534 | 発注中の図書資料についてもMARCで検索できること（発注中のステータスを画面上に表示できること） | | |
| 発注・受入確認 | 535 | 発注図書にそのリクエスト者を（複数）入力できること | | |
| 発注・受入確認 | 536 | 新刊MARCを利用した発注が可能なこと | | |
| 発注・受入確認 | 537 | インターネットを利用したMARCデータの受発注システム（TRCのTOOL等）に対応すること | | |
| 発注・受入確認 | 538 | 同一タイトルに対する「二重発注」「既に所蔵済」の場合、チェックし誤発注の抑止ができること また、発注点数および複本点数を表示すること（他に何点発注しているかあるいは他に何点所蔵している分かること） | | |
| 発注・受入確認 | 539 | 新刊案内等に印刷されたバーコードを読み込むことにより、発注データの作成が可能なこと（一点毎の確定を必要としないこと） | | |
| 発注・受入確認 | 540 | 発注情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること | | |
| 発注・受入確認 | 541 | 発注情報に付加するコメントの表示順を設定できること | | |
| 発注・受入確認 | 542 | 発注情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること | | |
| 発注・受入確認 | 543 | 発注の取消が行えること | | |
| 発注・受入確認 | 544 | 発注取消データから再発注ができること | | |
| 発注・受入確認 | 545 | 発注する資料のMARC番号、ISBN番号を連続して入力することにより、一括発注ができること | | |
| 発注・受入確認 | 546 | TRCの発注データを作成できること（作成・抽出したデータは一覧形式で印刷できること） | | |
| 発注・受入確認 | 547 | 新刊MARC一括登録時、「新刊急行ベル」などの資料は自動で発注データを作成できること（TRCの発注データは作成しない） | | |
| 発注・受入確認 | 548 | 発注図書にそのリクエスト者を入力できること | | |
| 発注・受入確認 | 549 | 発注の取消ができ、取消した発注情報は履歴として残すことができること | | |
| 発注・受入確認 | 550 | TOOL一括発注画面を使用したTOOLサーバへの直接発注時に、以下の発注種別を指定できること 通常発注／クイック発注／見計らい発注 | | |
| 発注・受入確認 | 551 | TOOL連携時、発注一覧画面での「注文済」状態の発注情報に対し、以下の情報を出力できること TOOL進捗状況／TOOL受信方法／TOOL受注形態／TOOL受付日／TOOL入荷日／TOOL出荷日 | | |
| 発注・受入確認 | 552 | MARC番号発注での発注入力時に、TOOLサーバを参照して発注するタイトルの在庫状況を表示できること | | |
| 発注・受入確認 | 553 | MARC番号発注での発注入力時に、予め設定したルールに従って請求記号を自動表示および登録できること | | |
| 発注・受入確認 | 554 | MARC番号発注での発注入力時に、発注ローカル情報に発注コメントが付与できること | | |
| 受入処理 | 555 | 受入処理が終了した資料については、受入図書リストに出力できること（受入区分・受入日・資料種別順などでリストアップできること） | | |
| 受入処理 | 556 | 発注管理ファイルと受入管理ファイルのデータを定期的にマッチングさせて、未納入図書リストを書店毎に出力できること | | |
| 受入処理 | 557 | 発注情報を参照しながら受入処理が行えること | | |
| 受入処理 | 558 | 資料のISBN/バーコードを読み取って書誌を特定して受入できること | | |
| 受入処理 | 559 | 各種MARCデータにより一括受入後、専用画面で検収処理が行えること（検収画面では、必要に応じてローカルデータの修正が行えること） | | |
| 受入処理 | 560 | 受入時に資料状態の初期値を任意に設定できること | | |
| 受入処理 | 561 | 受入後一定期間、新着資料として識別することができること | | |
| 受入処理 | 562 | 受入リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件：所蔵館、資料種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態区分、受入日、別置区分、資料番号、分類 ・ソート条件：館、種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態、タイトル順、資料番号順 | | |
| 受入処理 | 563 | 受入リスト印刷での帳票プレビュー・出力、およびテキスト出力にて、ISBN番号を出力できること | | |
| 受入処理 | 564 | 雑誌受入リスト印刷で発行周期を出力できること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 | |
|---------|----------------------------------|---|--|----|--|
| 新着資料印刷 | 565 | 新着資料案内を印刷できること | | | |
| 予算管理 | 566 | 資料の受入先（書店等）が複数の場合でも予算管理ができること | | | |
| | 567 | 発注時処理から予算の差し引き処理が自動連携できること | | | |
| 予算管理 | 568 | 受入処理から予算の差し引き処理が自動連携できること | | | |
| 予算管理 | 569 | 年度毎・月毎に予算額・発注額・受入額・予算残額・受入残額が管理できること | | | |
| 利用者検索 | 570 | 利用者氏名（カナ・漢字・アルファベットで全半角混在で可能）・電話番号・生年月日・利用者区分・E-Mail・利用者状態区分・利用者番号・連絡先名・連絡先電話番号・郵便番号での検索処理が行えること | | | |
| | 571 | 複数の項目に入力することによりAND検索ができること | | | |
| | 572 | 入力した検索条件に該当する利用者と、その利用者に対して事前に関連付けした家族利用者を同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること。または、他の画面で家族参照が可能な事。 | | | |
| | 573 | 入力した検索条件に該当する利用者と、電話番号、もしくは、住所が一致する利用者を家族利用者として同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること。または、他の画面で家族参照が可能な事。 | | | |
| | 574 | 検索中断件数を設定できること（検索中断キーにより任意に中断できること） | | | |
| | 575 | 検索結果画面は条件入力画面と同一画面で表示されること | | | |
| | 576 | 利用者一覧にて表示できること 項目の種類・幅・順番を任意に設定できること | | | |
| | 577 | 利用者の詳細情報を表示できること（氏名・電話番号・生年月日・年齢・住所・最終利用日・督促累積回数・有効期限・貸出資料一覧・予約資料一覧・コメント等が確認できること） | | | |
| | 578 | 検索された利用者を特定することにより、貸出中資料、予約中資料の確認、処理展開ができること | | | |
| | 579 | 検索された利用者を特定し、その家族が検索できること（家族連携対象者および電話番号一致利用者） | | | |
| | 580 | 検索された利用者を選択し、選択した利用者の利用者番号を引継ぎ貸出処理へ展開ができること | | | |
| | 581 | デフォルトカーソルの位置は、任意設定が可能なこと | | | |
| | 582 | 入力した電話番号ですべての連絡先の電話番号を検索できること | | | |
| | 583 | ローカル端末による利用者検索では、公共、学校（自グループ）のみ検索対象とすること | | | |
| | 584 | 団体利用者・相互貸借利用者毎のリストが出せること | | | |
| | 585 | 地区別に利用者集計を出力できること | | | |
| | 586 | 抽出結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること | | | |
| 587 | 統計データをテキストデータ、CSV形式で出力し2次加工できること | | | | |
| 利用者処理 | 588 | 利用者一覧画面から選択した利用者の番号置換え・再発行・有効期限更新・利用状態区分一括変更・一覧印刷が可能なこと | | | |
| 無効処理 | 589 | 最終利用日から一定期間（任意に設定可）を過ぎた利用者を無効（除籍）にできること | | | |
| 督促・予約処理 | 590 | 貸出期限・貸出館・資料種別・利用区分・予約状況によって督促対象者の抽出・設定ができること | | | |
| | 591 | 一定期間以上未返却の資料、または返却予定日の範囲指定および督促回数により、督促はがきを印刷できること（印刷する利用者を任意に選択できること） | | | |
| | 592 | 督促対象資料中の予約資料のみを抽出し、督促対象設定・はがきの印刷が可能なこと | | | |
| | 593 | 督促はがきの印刷は郵便番号順にソートが可能なこと | | | |
| | 594 | 督促はがきの印刷実行時に、督促連絡回数を加算できること | | | |
| | 595 | 返却予定日の範囲指定、督促回数、予約状況、借受け資料、貸出館により、督促リストの印刷ができること（氏名や電話番号・住所・資料種類順に打ち出せること） | | | |
| | 596 | 督促状で保護者を設定している場合は保護者の印字もできること | | | |
| | 597 | 督促状に資料名・資料番号のいずれを印字するか選べること | | | |
| | 598 | 督促はがきにコメントを印刷できること | | | |
| | 599 | はがきに「料金後納郵便」を印字できること | | | |
| | 600 | 督促状はA4サイズのドライシール（単票）の用紙にも対応できること | | | |
| | 601 | 督促状は封書（B5サイズ）にも対応できること | | | |
| | 602 | 督促状は秘匿感熱用紙（はがき）にも対応できること | | | |
| | 603 | 予約連絡メール、督促連絡メールをシステムから送信できること また、あらかじめ送信時間、送信曜日、送信対象期間等を設定して自動で送信もできること | | | |
| | 604 | 複本一覧画面から、貸出中資料の貸出利用者に対して督促連絡を依頼する督促連絡票を、貸出館のプリンタに直接出力できること | | | |
| | 紛失・弁償管理 | 605 | 貸出中資料を利用者が紛失した場合に、紛失中または弁償中という状態を管理できること | | |
| | | 606 | 紛失資料の一覧が印字できること | | |
| 予約連絡管理 | 607 | 予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象：全件、割当済のみ、未割当のみ、未所蔵資料のみ ・範囲指定：予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分、予約状態 また予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること ・予約リストにはISBN番号および利用者番号のバーコードを印字できること | | | |
| | 608 | 予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力を管理およびメール、はがきによる一括送信が可能なこと ・抽出条件：利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法（電話、E-Mail等） | | | |
| 予約連絡管理 | 609 | 予約連絡メールをシステムから送信できること | | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|----------|-----|---|------|----|
| 督促連絡管理 | 610 | 督促リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件：返却期限、督促回数、貸出館、資料種別、利用者区分、貸出状態、予約受渡館、連絡方法 ・利用者に対して督促対象外コメントを入力した場合、リストから対象外とすること ・上記督促リストは督促処理などのバッチ処理を不要とすること | | |
| 督促連絡管理 | 611 | 督促連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、督促連絡済の入力を管理およびメールによる一括送信が可能なこと ・抽出条件：利用者番号、返却期限日、督促連絡日、督促日、督促回数、貸出館、貸出状態、連絡方法（電話、E-Mail等）、連絡回数、連絡状態 | | |
| 督促連絡管理 | 612 | 前回の督促連絡管理の抽出条件を、自館の抽出条件の初期値として表示することができること | | |
| 督促連絡管理 | 613 | 督促連絡済の記録について、資料毎の連絡回数と各連絡時の情報（連絡日、連絡方法、備考等コメント）、連絡状態の管理が可能なこと | | |
| E-Mail機能 | 614 | 次の画面から対象の利用者に対しE-Mailの入力画面を開き、連絡用のメールを送信する機能を有すること 利用者貸出一覧画面、利用者予約一覧画面、利用者詳細画面 | | |
| E-Mail機能 | 615 | 利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい貸出資料情報を選択し連絡できること | | |
| E-Mail機能 | 616 | 利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい貸出資料情報を選択し連絡する時、家族連携利用者には本人と家族の貸出情報を連絡できること | | |
| E-Mail機能 | 617 | 利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい利用者とその家族の貸出資料情報を選択し連絡する時、家族利用者の貸出資料が含まれていることを確認するメッセージが表示されること | | |
| E-Mail機能 | 618 | 利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい予約資料情報を選択し連絡できること | | |
| E-Mail機能 | 619 | 利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい予約資料情報を選択し連絡する時、家族連携利用者には本人と家族の予約情報を連絡できること | | |
| E-Mail機能 | 620 | 利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい利用者とその家族の予約資料情報を選択し連絡する時、家族利用者の予約資料が含まれていることを確認するメッセージが表示されること | | |
| E-Mail機能 | 621 | 返却期限日が近づいている利用者に対して、返却期限日をお知らせするメールを送信できること | | |
| E-Mail機能 | 622 | 返却期限日を知らせるメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること | | |
| E-Mail機能 | 623 | 返却期限日が過ぎている利用者に対して、延滞を連絡するメールを送信できること | | |
| E-Mail機能 | 624 | 返却期限日超過を知らせるメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること | | |
| E-Mail機能 | 625 | 各種メール機能にて、文面に宛名を表示するメールに関して、宛名情報に利用者番号の表示ができること | | |
| E-Mail機能 | 626 | 各種メール機能にて、メールサーバのスプムメール対策への対応として、自動メール送信時に送信間隔を空けてメール送信が行えること | | |
| E-Mail機能 | 627 | 予約連絡メールなど、メール情報に館情報が含まれている場合に、エラーメールの送信先を館毎に設定ができること | | |
| その他 | 628 | 利用者カードの有効期限を更新するとき、次のいずれの日付を基準として起算するか設定できること ・カードの更新を行った日から起算する ・カードの有効期限日から起算する ・カードの利用者の生年月日から起算する | | |
| その他 | 629 | 利用者カードを再発行時に有効期限を更新するかを選択できること | | |
| 全般 | 630 | メールマガジンにより図書館からのお知らせを利用者に送ることができること | | |
| 全般 | 631 | メールマガジンとSDI（新着資料案内）が発行できること | | |
| 全般 | 632 | メールマガジンは利用者カードのない人にも発行できること 利用者カードを持つ人のみ利用可とする運用が可能であること | | |
| 全般 | 633 | 利用者カードを持つ人のみ利用可とする運用のとき、利用者の状態区分及び長期延滞による配信制限ができること | | |
| 全般 | 634 | 延滞ペナルティ（予約・貸出制限）期間中利用者に対し、メールマガジンの送信を制限できること | | |
| 全般 | 635 | メールの自動送信が設定できること | | |
| メール作成 | 636 | メールマガジンの新規作成・保存・編集ができること | | |
| メール作成 | 637 | テストメールが送信できること | | |
| メール作成 | 638 | メールタイトルが保存済みのメールと同じ場合は上書き保存されること | | |
| 全般 | 639 | タッチパネルディスプレイを利用したシステムであること キーボードも操作できること | | |
| 検索 | 640 | ひらがな、カタカナ、数字、特殊文字の文字入力が可能なこと | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|---------|-----|--|------|----|
| 検索 | 641 | フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することでAND/ORによる複合検索ができること | | |
| 検索 | 642 | フリーワードによる検索時、NOTによる複合検索ができること | | |
| 検索 | 643 | フリーワードによる検索時、資料番号の検索ができること | | |
| 検索 | 644 | 資料区分（図書・雑誌・AV（音響資料・映像資料））または全資料より選択して検索できること | | |
| 検索 | 645 | 資料種別（一般書・児童書・郷土資料・雑誌・CD・ビデオ・DVD等）または全資料より選択して検索できること | | |
| 検索 | 646 | 検索対象とする館を自館のみか全館かまたは複数の館を選択した上で検索できること | | |
| 検索 | 647 | 雑誌は雑誌タイトル毎に「スポーツ」等のジャンルが設定でき、ジャンル選択によるタイトル一覧が表示できること | | |
| 検索 | 648 | 雑誌のジャンルが設定でき、1つの雑誌タイトルに複数のジャンルを設定できること | | |
| 検索 | 649 | タイトル・著者名（典拠データ参照）・キーワード等より選択して検索できること（一般書が児童書かで絞った後でも可能なこと） | | |
| 検索 | 650 | 50音表記から検索キーの入力ができること（この時表示されるキーボードは右並び、左並びが選択可能なこと） | | |
| 検索 | 651 | 検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること | | |
| 検索 | 652 | 検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること | | |
| 検索 | 653 | 検索結果が並べ替え（ソート）可能なこと | | |
| 検索 | 654 | フリーキーワードによる中間一致検索が可能なこと | | |
| 検索 | 655 | 検索結果が複数ページにわたる場合、指定したページ（先頭ページ、最終ページ、ページ番号指定）に直接移動できること | | |
| 検索 | 656 | 特定保管場所の資料を検索対象外とすることができること | | |
| 検索 | 657 | 予め設定した任意の期間を超えて延滞している資料を検索の対象外にできること | | |
| 検索 | 658 | 発注中の資料を館内OPACで公開でき、検索/予約の対象にできること | | |
| 検索 | 659 | 検索結果に発注中の資料があるとき、タイトル一覧画面で資料状態が発注中であることがひとめでわかること | | |
| 検索 | 660 | 検索文字入力において、1文字削除・追加ができること | | |
| 検索 | 661 | 検索中断件数をあらかじめ設定し、中断件数に達したら自動的に検索を中断すること。 | | |
| 検索 | 662 | 館内OPACでキーボードを使用することなく、漢字検索を行うことができること | | |
| 検索 | 663 | 検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること | | |
| 画面構成・表示 | 664 | 大人用・子供用の画面を用意し、利用者が使いやすい機能であること | | |
| 画面構成・表示 | 665 | 画面を触らない時間（任意設定）が一定を過ぎたら、お知らせ等の自動表示、もしくは初期画面に戻ることに | | |
| 画面構成・表示 | 666 | 一覧表示形式は、タイトル毎に横形式に表示すること | | |
| 画面構成・表示 | 667 | 所蔵一覧から選択した資料に対する配架場所が画像表示できること（複数の館に存在する場合、それぞれの場所を表示できること） | | |
| 画面構成・表示 | 668 | 資料情報詳細欄に表示させる項目・幅・見出しが自由に設定できること | | |
| 画面構成・表示 | 669 | 除籍予定や不明資料などは表示しないこと（状態区分により、任意に設定できること） | | |
| 画面構成・表示 | 670 | パラメータ管理により、タイトル詳細画面の紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データ毎に改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する | | |
| 予約 | 671 | 館内OPACから、利用者番号、パスワードの認証により、予約受付が可能なこと | | |
| 予約 | 672 | 予約が完了したら認証済み状態ではなくなる | | |
| 予約 | 673 | 設定により、未所蔵資料への予約受付ができること | | |
| 予約 | 674 | 未所蔵資料への予約受付時に、利用者区分・資料区分ごとで予約可否のチェックが行えること | | |
| 予約 | 675 | 貸出中資料に延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること | | |
| 予約 | 676 | 長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約を制限できること | | |
| 予約 | 677 | 貸出中資料に延滞かつ予約あり資料がある利用者の予約受付を制限できること | | |
| 予約 | 678 | 貸出中資料に督促資料がある利用者の予約受付を制限できること | | |
| 予約 | 679 | あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること | | |
| 予約 | 680 | 自館に貸出可能資料があるときに、予約ボタンを表示する/しないを設定できること | | |
| 予約 | 681 | 他館に貸出可能資料があるときに、予約ボタンを表示する/しないを設定できること | | |
| 予約 | 682 | 複数もしくは単数のタイトルを1回の認証で予約ができること | | |
| 予約 | 683 | タイトル一覧画面で予約ができないタイトルは、複数選択のボタンの選択ができないようになっていること | | |
| 予約 | 684 | タイトル一覧画面で複数のタイトルを選択したとき、ページを移動しても選択したタイトルは記憶していること | | |
| 予約 | 685 | 予約受付時に、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを入力可能なこと | | |
| 予約 | 686 | 予約受付時の、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを省略可能なこと | | |
| 予約 | 687 | 予約受付時の、予約受渡館は利用者区分・利用者貸出形態区分の組み合わせごとに設定された受渡館を表示できること これにより特定の利用者だけに受渡館に宅配サービス表示する等の制御が可能なこと | | |
| 予約 | 688 | 連絡方法は利用者区分毎に選択できる連絡方法を制御できること | | |
| 予約 | 689 | 予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること | | |
| 予約 | 690 | 選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること | | |
| 予約 | 691 | 予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること | | |
| 予約 | 692 | 検索した資料が貸出中もしくは他館にある場合はOPACから予約をかけることができること（利用者番号とパスワードを入力すること） | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|---------|-----|---|------|----|
| 予約 | 693 | 館内OPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員の業務端末で抽出・印刷ができること | | |
| セット予約 | 694 | 予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること | | |
| 貸出・返却 | 695 | バーコードリーダーを設置することによって、利用者自身が貸出・返却手続きを行えること | | |
| 貸出・返却 | 696 | マイナンバーカードを図書利用券として活用できること 非接触型のICカードリーダーにかざすことで、簡単に図書を借りることができること | | |
| パスワード登録 | 697 | OPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと | | |
| パスワード登録 | 698 | 新規パスワード登録時に、既にパスワードを登録済みの利用者が、新規パスワードを登録できるか、登録できないかをシステムで選択できること | | |
| パスワード登録 | 699 | 新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名(カナ)、生年月日、電話番号で認証すること | | |
| パスワード登録 | 700 | 新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること | | |
| パスワード登録 | 701 | 新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名(カナ)、電話番号等で認証すること | | |
| パスワード登録 | 702 | 新規パスワード登録時、氏名(カナ)を清音化してチェックできること 例) 入力文字「ジュンコ、シュンゴ、シュンコ、シュンコ・・・」を清音「シュンコ」と見なす | | |
| 利用状況照会 | 703 | 利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること | | |
| 利用状況照会 | 704 | 延滞ペナルティ(予約・貸出制限)期間中利用者に対し、利用状況照会画面に利用停止メッセージを表示できること | | |
| 利用状況照会 | 705 | 利用者が現在借りている資料について延長処理ができること (利用者および資料の状態が延長可能条件を満たした場合に限る) | | |
| 利用状況照会 | 706 | 返却期限が過ぎている貸出中資料は延長を制限できること | | |
| 利用状況照会 | 707 | 返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料は延長を制限できること | | |
| 利用状況照会 | 708 | 督促がされた貸出中資料は延長を制限できること | | |
| 利用状況照会 | 709 | 貸出中資料が借受資料の時は延長を制限できること | | |
| 利用状況照会 | 710 | 他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること | | |
| 利用状況照会 | 711 | 返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること | | |
| 利用状況照会 | 712 | 返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること | | |
| 利用状況照会 | 713 | 督促がされた貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること | | |
| 利用状況照会 | 714 | 利用者が現在借りている資料一覧をレシート印刷できること | | |
| 利用状況照会 | 715 | 利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること | | |
| 利用状況照会 | 716 | 利用者自身が予約を解除せずに予約割当のみを解除できること | | |
| 利用状況照会 | 717 | 取消された予約資料が一覧で確認できること | | |
| 利用状況照会 | 718 | 利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示するか別々の画面で表示するかあらかじめ設定できること また、同じ画面で一覧表示する場合は予約確保されている資料が一覧の上に表示できること | | |
| 利用状況照会 | 719 | 利用者が予約中の資料について、旅行等のため不在の間、一時的に割当の保留登録ができ、また、元に戻すことができること | | |
| 利用状況照会 | 720 | 利用者が予約中の資料について予約取消ができること | | |
| 利用状況照会 | 721 | 利用者が予約中のリクエスト資料については予約取消ができないようにすること 発注中資料および借受待ち資料の予約は、取消ができないようにすること | | |
| 利用状況照会 | 722 | 利用者が照会した予約一覧をレシート印刷できること | | |
| 利用状況照会 | 723 | 利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること | | |
| 利用状況照会 | 724 | 利用者認証時に、延滞資料が存在する利用者に延滞警告メッセージを表示できること | | |
| 利用情報変更 | 725 | 利用者のパスワードおよびメールアドレスの変更が可能なこと | | |
| 利用情報変更 | 726 | メールアドレスの変更時はメールアドレスフォーマットの確認をおこない、フォーマット不正の場合にはエラーメッセージが表示できること | | |
| 利用者機能 | 727 | 利用者認証は、利用者番号、パスワードにより可能とすること | | |
| 利用者機能 | 728 | 利用者認証時に、利用停止・除籍予定の利用者のログインを制限できること | | |
| 利用者機能 | 729 | 利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること | | |
| 利用者機能 | 730 | 利用者認証時に長期未利用利用者のログインを制限できること | | |
| 検索結果印刷 | 731 | 検索一覧の印字、資料詳細情報の印字が可能なこと(レシートプリンタ等) | | |
| 検索結果印刷 | 732 | 一面面で、印刷ボタンは1回しか押せないようにできること(連打防止の機能を有すること) | | |
| 検索結果印刷 | 733 | 自館所蔵資料がないときは印刷ボタンを表示しないようにできること | | |
| 検索結果印刷 | 734 | 自館に利用可能資料がないときは印刷ボタンを表示しないようにできること | | |
| 検索結果印刷 | 735 | 所蔵情報の明細は自館所蔵のみに限定できること | | |
| 検索結果印刷 | 736 | 所蔵情報の明細は自館利用可能資料のみに限定できること | | |
| 検索結果印刷 | 737 | 配架図画像が印刷できること | | |
| レシート印刷 | 738 | 館内OPACから予約受付票をレシートに印刷できること | | |
| レシート印刷 | 739 | 館内OPACから在架場所一覧をレシートに印刷できること また在架場所を配架図としてイメージ印刷できること | | |
| レシート印刷 | 740 | 予約受付票には予約した利用者について以下の情報が出力できること 利用者バーコード/利用者番号/利用者漢字/利用者カナ/予約受渡館/予約受渡SP/予約連絡方法 | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|--------|-----|--|------|----|
| レシート印刷 | 741 | 予約受付票には予約した資料について以下の情報が出力できること 資料バーコード/資料番号/タイトル/著者/出版者/出版年/ページ数/価格/請求記号 | | |
| レシート印刷 | 742 | 予約状況レシートに以下の情報が出力できること 発行日/利用者番号/タイトル/予約日/受渡館/予約順位 | | |
| レシート印刷 | 743 | 次のレシートに任意に登録した画像を印字できること 返却期限票/利用者番号通知票/資料レシート/書誌レシート/予約状況レシート/タイトル一覧レシート | | |
| レシート印刷 | 744 | レシートに印字する画像は複数登録でき、順番に印刷できること | | |
| レシート印刷 | 745 | 印字期間を登録し、開始/終了の管理ができること | | |
| シール印刷 | 746 | 貸出処理後、資料名・著者名・出版社・利用日をラベルプリンタによりシール印刷できること | | |
| シール印刷 | 747 | シールに出力する内容は、直前の操作による貸出分または選択操作した資料のみ・当日貸出分・貸出中すべて、から選択できること | | |
| シール印刷 | 748 | シールは再出力が可能であること | | |
| お知らせ | 749 | お知らせ(催し物等含む)が表示できること | | |
| お知らせ | 750 | テーマ毎に集めた資料や紹介したい資料を図書館からのおすすめ本として表示できること | | |
| お知らせ | 751 | 案内お知らせ機能で、図書館カレンダー情報を館毎にカレンダー形式で表示できること(システムと連動して自動的に表示できること) | | |
| お知らせ | 752 | 新着資料・新刊資料・貸出ベスト資料・予約ベスト資料の表示機能があること(予め設定した条件・抽出サイクルにより自動作成されること) | | |
| お知らせ | 753 | 新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト資料・おすすめ本は一覧を表示するだけでなく、一覧をタッチすることにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること | | |
| お知らせ | 754 | 現在(データ抽出処理時点)の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること | | |
| お知らせ | 755 | 利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間の利用者に対しメッセージを表示できること | | |
| お知らせ | 756 | 新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データはあらかじめ設定された条件および処理サイクルに従ってサーバー上で自動作成されること このとき、業務端末は起動していなくてもよいこと | | |
| お知らせ | 757 | 新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データは業務端末上で手動で作成することもできること | | |
| 統計処理 | 758 | 館内OPACのアクセス統計がとれること | | |
| 統計処理 | 759 | 館内OPACのページ別にアクセス統計をとることができること | | |
| 統計処理 | 760 | 館内OPACのアクセス統計は、期間指定により曜日、自館別の集計を行うことができること | | |
| 読書マラソン | 761 | 読書推進機能として、期間と貸出数目標値をパラメータで指定、達成状況を確認できる機能を用意すること | | |
| 読書マラソン | 762 | 達成状況はグラフ等の視覚的な表示ができること | | |
| 読書マラソン | 763 | 図書館が設定したイベントとして読書マラソン大会を開催できること | | |
| 読書マラソン | 764 | 読書マラソン大会は利用者区分・地区コード・年齢によって参加対象を制限することができること | | |
| 読書マラソン | 765 | 読書マラソン大会の利用者毎の状況をレシートに出力できること | | |
| 読書マラソン | 766 | 設定した達成状況がレシート印刷できること | | |
| 全般 | 767 | インターネット蔵書検索が可能なこと | | |
| 全般 | 768 | Webサーバ上に公開データベースを持ち、検索ができること | | |
| 全般 | 769 | 蔵書検索はパソコンだけでなく、スマートフォン・タブレットからも検索ができること | | |
| 全般 | 770 | 「JIS X 8341-3:2016」のAAに準拠し、読上げソフトに対応したデザインであること | | |
| 全般 | 771 | 画面幅779px以下で表示した場合、スマートフォンやタブレットでも見やすいように自動的にデザインが切り替わること | | |
| 全般 | 772 | ネットワーク、接続端末が図書館と同等の環境の場合であれば、図書館と同等の検索速度を有すること | | |
| 全般 | 773 | LINEや個別アプリ等との連携ができること。Android、iOSに対応すること | | |
| 検索 | 774 | フリーワード検索は全文検索エンジンを採用していること | | |
| 検索 | 775 | 簡単な検索画面と詳細な検索条件を指定できること 両方の画面があること | | |
| 検索 | 776 | フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することによりAND/ORによる複合検索ができること | | |
| 検索 | 777 | フリーワードによる検索時、NOTによる複合検索ができること | | |
| 検索 | 778 | 資料種別(一般書・児童書・郷土資料・雑誌・CD・ビデオ・DVD等)または全資料より選択して検索できること | | |
| 検索 | 779 | 雑誌は雑誌タイトル毎に「スポーツ」等のジャンルが設定でき、ジャンル選択によるタイトル一覧が表示できること | | |
| 検索 | 780 | 雑誌のジャンルが設定でき、1つの雑誌タイトルに複数のジャンルを設定できること | | |
| 検索 | 781 | 資料名(3項目以上の複合検索が可能なこと)、人名(同左)による検索のほか、出版者・発売者・件名・NDC分類・受賞名・ISBN・出版年月による範囲指定が可能なこと(フリーワード全文検索機能を有すること) | | |
| 検索 | 782 | 検索結果一覧として、以下の項目(該当件数・現在頁数および全体頁数)・項番・資料名・人名・出版社・分類・出版年月等)を表示できること | | |
| 検索 | 783 | 一覧表示数は1頁に10件を標準とし、25件・50件・300件と選択可能なこと | | |
| 検索 | 784 | 詳細表示として以下の項目(書誌データとしては資料名・人名・出版社・出版年月・頁数・サイズ・価格・ISBN・分類・件名・注記・内容細目・内容紹介・著者紹介・利用対象等、ローカルデータとしては所在館・保管場所・種別・請求記号・資料番号・貸出区分等)を表示できること | | |
| 検索 | 785 | WebOPAC書誌詳細画面は、ルール化されたURLにアクセスすることで、図書館ホームページ等から該当資料の書誌詳細画面を直接開くことができること | | |
| 検索 | 786 | 検索条件入力画面、検索結果一覧画面でソート条件(タイトル、人名、出版者等)を選択することによって、検索結果を条件順に表示できること | | |
| 検索 | 787 | 検索対象とする館を複数選択した上で検索できること | | |
| 検索 | 788 | 検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|---------|-----|--|------|----|
| 検索 | 789 | 検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること | | |
| 検索 | 790 | 資料データの状態（貸出状態、予約状態、資料状態）は業務サーバと連携し、リアルタイムに検索結果に反映されること | | |
| 検索 | 791 | 検索結果一覧、詳細画面で著者をクリックすることにより、選択した著者で再検索できること | | |
| 検索 | 792 | 検索結果一覧、詳細画面で叢書名をクリックすることにより、選択した叢書名で再検索できること | | |
| 検索 | 793 | 発注中の資料をWebOPACで公開でき、検索／予約の対象にできること | | |
| 検索 | 794 | 検索結果に発注中の資料があるとき、タイトル一覧画面で資料状態が発注中であることがひとめでわかること | | |
| 検索 | 795 | 検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること | | |
| 検索 | 796 | 外部公開機能の新书推荐リスト・新刊リスト・貸出ベスト・予約ベストの表示対象資料・期間を利用者が指定して表示ができること | | |
| 検索 | 797 | 検索結果一覧は、資料イメージを中心としたカードモードと文字情報を中心としたシンプルモードで表示することができ、モードの切り替えを利用者自身が行えること またカードモード・シンプルモードの初期表示設定を利用者自身でできること | | |
| 検索 | 798 | シンプルモードで表示する場合、検索結果一覧として、該当件数・現在頁数および全体頁数・項番・資料名・資料区分・人名・出版社・分類・出版年月を表示できること | | |
| 検索 | 799 | カードモードで表示する場合、検索結果一覧として、該当件数・現在頁数および全体頁数・書影表示領域・資料名・資料区分・人名・出版社・分類・出版年月を表示できること | | |
| 検索 | 800 | 利用者区分・利用者貸出形態区分・住所コードの組み合わせごとに検索条件を設定できること | | |
| 検索 | 801 | 団体向けの資料を団体利用者のみに表示、障害者向けの資料を障害者のみに表示、市内在住の利用者にのみ未所蔵の資料を表示することができること | | |
| 検索 | 802 | 図書館が独自作成・登録した地域資料等の画像データを検索・表示することができること | | |
| 検索 | 803 | フリーワード／キーワードの検索欄に入力した語句が2文字以上の場合、予測される検索語の候補を表示できること | | |
| 検索 | 804 | フリーワード／キーワードの検索欄で予測表示された検索語を使用して資料検索ができること | | |
| 検索 | 805 | 検索結果一覧画面で表示される書誌を、検索画面に戻ることなく指定の項目（資料区分・所蔵館・シリーズ・人名・日本十進分類・出版年・出版国等）で絞り込むことができること | | |
| 検索 | 806 | タイトル詳細画面で表示中の書誌と著者・出版年・分類・件名・受賞名・シリーズ名・雑誌名で関連する書誌を関連資料として表示できること | | |
| 画面構成・表示 | 807 | パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データ毎に改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する | | |
| 画面構成・表示 | 808 | 所蔵一覧から選択した資料に対する配架場所が画像表示できること（複数の館に存在する場合、それぞれの場所を表示できること） | | |
| 画面構成・表示 | 809 | 「JIS X 8341-3：2016」のAAに準拠し、読上げソフトに対応したデザインであること | | |
| 画面構成・表示 | 810 | 画面幅779px以下で表示した場合、スマートフォンやタブレットでも見やすいように自動的にデザインが切り替わること | | |
| 予約 | 811 | 予約システムを提供し図書館システムとシームレスな連携が可能なこと（予約データはリアルタイムに業務サーバに反映されること） | | |
| 予約 | 812 | 予約カート方式であること | | |
| 予約 | 813 | 予約上限チェック（Web+図書館基本システム）が可能なこと | | |
| 予約 | 814 | PCブラウザ用画面にて利用者がログアウトした時やブラウザ画面を閉じた時にカート情報が削除されること また、カート登録はログインしないとできないものとした場合は予約カート情報をサーバ側に保持できること | | |
| 予約 | 815 | 利用者がログアウトしたときやブラウザ画面を閉じたとき、カート情報を削除する/削除しないの制御が設定で変更可能であること | | |
| 予約 | 816 | 予約などの認証時に使用するパスワード保護対策として、一定回数連続で認証に失敗すると、設定された時間はログインを制限することができること | | |
| 予約 | 817 | 予約に際しては、利用者番号およびあらかじめ利用者に付与したパスワードによる認証を行うこと 予約受取館の設定ができ、予約資料が準備できた際に、メールによる通知が可能であること | | |
| 予約 | 818 | 設定により、未所蔵資料への予約受付ができること | | |
| 予約 | 819 | 未所蔵資料への予約受付時に、利用者区分・資料区分ごとで予約可否のチェックが行えること | | |
| 予約 | 820 | 利用停止や除籍予定の利用者の予約受付を制限できること | | |
| 予約 | 821 | 貸出中資料に延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること | | |
| 予約 | 822 | 長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約を制限できること | | |
| 予約 | 823 | 貸出中資料に延滞かつ予約あり資料がある利用者の予約受付を制限できること | | |
| 予約 | 824 | 貸出中資料に督促資料がある利用者の予約受付を制限できること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|---------|-----|---|------|----|
| 予約 | 825 | あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること | | |
| 予約 | 826 | 予約受付時の連絡方法登録は、利用者区分毎に選択できる連絡方法を制御できること | | |
| 予約 | 827 | 予約受付時の、予約受渡館は利用者区分・利用者貸出形態区分の組み合わせごとに設定された受渡館を表示できること これにより特定の利用者の方に受渡館に宅配サービス表示する等の制御が可能なこと | | |
| 予約 | 828 | 予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること | | |
| 予約 | 829 | 予約受渡のサービスポイントを選択するとき、選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること | | |
| 予約 | 830 | 予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること | | |
| 予約 | 831 | WebOPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員業務端末で抽出・印刷ができること | | |
| 予約 | 832 | 予約に際しては、利用者番号およびあらかじめ利用者に付与したパスワードによる認証を行うこと予約受取館の設定ができ、予約資料が準備できた際に、メールによる通知が可能であること | | |
| セット予約 | 833 | 予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること | | |
| お気に入り登録 | 834 | 資料詳細から、お気に入り資料の登録が可能なこと | | |
| パスワード登録 | 835 | WebOPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと | | |
| パスワード登録 | 836 | 新規パスワード登録時に、既にパスワードを登録済みの利用者が、新規パスワードを登録できるか、登録できないかをシステムで選択できること | | |
| パスワード登録 | 837 | 新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること | | |
| パスワード登録 | 838 | 新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名(カナ)、電話番号等で認証すること | | |
| パスワード登録 | 839 | 新規パスワード登録時、氏名(カナ)を清音化してチェックできること 例) 入力文字「ジュンコ、シュンゴ、シュンコ、シュンコ・・・」を清音「シュンコ」と見なす | | |
| 利用状況照会 | 840 | 利用者の貸出状況・予約状況という利用状況にあわせ、利用照会メニュー、図書館カレンダーや新着資料一覧などをまとめてポータル画面等で確認できること | | |
| 利用状況照会 | 841 | 利用者認証時に、延滞資料が存在する利用者に延滞警告メッセージを表示できること | | |
| 利用状況照会 | 842 | 延滞ペナルティ(予約・貸出制限)期間中利用者に対し、利用状況照会画面に利用停止メッセージを表示できること | | |
| 利用状況照会 | 843 | 利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること | | |
| 利用状況照会 | 844 | 返却期限が過ぎている貸出中資料は延長を制限できること | | |
| 利用状況照会 | 845 | 返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料は延長を制限できること | | |
| 利用状況照会 | 846 | 督促がされた貸出中資料は延長を制限できること | | |
| 利用状況照会 | 847 | 貸出中資料が借受資料の時は延長を制限できること | | |
| 利用状況照会 | 848 | 他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること | | |
| 利用状況照会 | 849 | 返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること | | |
| 利用状況照会 | 850 | 返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること | | |
| 利用状況照会 | 851 | 督促がされた貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること | | |
| 利用状況照会 | 852 | 利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること | | |
| 利用状況照会 | 853 | 利用者自身が予約確保されている資料を予約そのものを解除せずに予約確保状態のみ解除できること (利用者が確保期間中に図書館へ訪問できない都合がある場合を想定) | | |
| 利用状況照会 | 854 | 利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示できること また、予約確保されている資料が一覧の上に表示できること | | |
| 利用状況照会 | 855 | 利用者が予約中の資料について、旅行等のため不在の間、一時的に割当の保留登録ができ、また、元に戻すことができること | | |
| 利用状況照会 | 856 | 利用者が予約中の資料について予約取消ができること | | |
| 利用状況照会 | 857 | 発注中資料および借受待ち資料の予約は、取消ができないようにすること | | |
| 利用状況照会 | 858 | 利用照会の貸出状況表示画面において、返却期限を超過している詳細に期限が超過していることを通知するアイコンとメッセージを表示できること | | |
| 利用状況照会 | 859 | 利用照会の予約確保資料一覧に引取期限日を表示できること | | |
| 利用状況照会 | 860 | 貸出・予約・予約確保の一覧画面にて、タイトルから1クリックで書誌詳細画面へ遷移できること | | |
| 利用状況照会 | 861 | 貸出中資料の延長は任意の1点または複数冊を選択して行えること | | |
| 利用状況照会 | 862 | お知らせ・貸出中一覧・予約中一覧(未確保/確保済み)・新着資料一覧・図書館カレンダーを同一画面上に表示でき、各表示領域は利用者自身が配置を変えて使うことができること | | |
| 利用状況照会 | 863 | 利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示できること | | |
| 利用状況照会 | 864 | 取消された予約資料が一覧で確認できること | | |
| 利用状況照会 | 865 | 利用照会画面に利用者番号のバーコード表示ができること | | |
| 利用状況照会 | 866 | 利用照会画面に表示する利用者バーコード画面に、改ざん防止機能の設定ができること | | |
| 雑誌一覧表示 | 867 | 雑誌の一覧表示機能があること | | |
| 雑誌一覧表示 | 868 | 刊行頻度を表示可能であること | | |
| 雑誌一覧表示 | 869 | 雑誌情報は、図書館で任意に修正可能であること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|-----------|-----|---|------|----|
| 雑誌一覧表示 | 870 | 雑誌一覧から雑誌を選択することにより、その雑誌の所蔵一覧へ移り、さらに資料を選択することにより資料の詳細情報を表示し、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること | | |
| 雑誌一覧表示 | 871 | 雑誌一覧から非表示とする雑誌タイトルを任意で設定できること | | |
| 利用者登録情報変更 | 872 | E-Mail、パスワードの登録内容の変更が行えること また、E-Mail変更時及び新規パスワード登録でのE-mail登録時は確認メールを送信し、記載されたURLにアクセスすることでE-mail変更を確定できること | | |
| 利用者登録情報変更 | 873 | WebOPACから利用者自身が利用者登録を行う際に、マイナンバーカードを利用者カードとして利用有無の希望登録が可能なこと | | |
| 利用者登録情報変更 | 874 | WebOPACから利用者自身が利用者登録を行うことができること | | |
| 利用者登録情報変更 | 875 | メールアドレスの変更時はメールアドレスフォーマットの確認をおこない、フォーマット不正の場合にはエラーメッセージが表示できること | | |
| 利用者登録情報変更 | 876 | 予約時の予約受渡館の初期値を登録することができること | | |
| 利用者登録情報変更 | 877 | 予約時の連絡方法の初期値を登録することができること | | |
| 利用者登録情報変更 | 878 | 返却お知らせメールの受信選択が登録できること | | |
| 利用者機能 | 879 | 予約資料の選択はカート方式を採用し、複数冊を予約カートに登録し、1回の認証にて、複数冊の予約を行うことができること | | |
| 利用者機能 | 880 | 予約カートは追加、削除を可能とすること | | |
| 利用者機能 | 881 | 予約認証はカートに登録後、本予約実行時に、利用者番号、パスワードにより可能とすること | | |
| 利用者機能 | 882 | 利用者認証は、利用者番号、パスワードにより可能とすること | | |
| 利用者機能 | 883 | 利用者認証時に、利用停止・除籍予定の利用者のログインを制限できること | | |
| 利用者機能 | 884 | 利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること | | |
| 利用者機能 | 885 | 利用者認証時に長期未利用利用者のログインを制限できること | | |
| 利用者機能 | 886 | 利用者認証時に、特定の利用者コメント（忘れ物があります、取り置き資料あり等）を通知できること | | |
| お知らせ | 887 | 図書館カレンダー情報を館別にカレンダー形式で表示できること（業務システムに登録したカレンダーから抽出できること） | | |
| お知らせ | 888 | 新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・おすすめ本のリストが表示でき、一覧を選択することにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること | | |
| お知らせ | 889 | 新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベストはOPACのデータ作成時と同時に作成されること | | |
| お知らせ | 890 | お知らせ表示機能があること 図書館がデジタルカメラ等で撮影した画像を掲示可能であること | | |
| お知らせ | 891 | 利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること | | |
| お知らせ | 892 | 子ども向けのお知らせ・検索等の機能があること | | |
| お知らせ | 893 | 資料詳細画面で、予約ができない書誌の場合は「予約受付」ボタンを非表示とし、予約不可理由をメッセージで表示できること | | |
| お知らせ | 894 | 資料詳細画面の複本一覧表示にて、資料種別、保管場所、所蔵館、所在館名称の表示文字数を任意に設定できること | | |
| お知らせ | 895 | 資料詳細画面にて、雑誌の最新刊号は予約受付ボタンを非表示とし、最新刊のため予約できないことを通知するメッセージが表示できること | | |
| お知らせ | 896 | WebOPAC、館内OPACに表示するお知らせの期間を任意に設定できること | | |
| お知らせ | 897 | 現在（データ抽出処理時点）の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること | | |
| 統計処理 | 898 | WebOPACのアクセス統計がとれること | | |
| 統計処理 | 899 | WebOPACのページ別にアクセス統計をとることができること | | |
| 統計処理 | 900 | アクセス統計は、期間指定により曜日、ページ毎の集計を行うことができること | | |
| 統計処理 | 901 | アクセスログを端末種類（PC/スマートフォン等）で分類して集計出力することができること | | |
| 外部サイト連携 | 902 | 外部サイトと連携し、書影が表示できること | | |
| 外部サイト連携 | 903 | 書影はGoogleBooks及びAmazonサイト両社から選択可能なこと | | |
| 外部サイト連携 | 904 | WebOPACの書誌詳細画面にISBNを使用した外部サイトへのリンクを作成すること | | |
| 外部サイト連携 | 905 | 外部サイト連携はGoogleブックス、Amazon、honto、紀伊国屋書店、楽天ブックス、7net、e-hon、ブックログ、カーリル、WebCatPlus、Amazon書店、国立国会図書館のサイトの全ての会社に対応でき、リンクの表示/非表示はそれぞれ選択できること | | |
| 外部サイト連携 | 906 | 外部サイトと連携し表示する書影は、利用者の操作で非表示にできること | | |
| メールマガジン | 907 | WebOPACより利用者自身でメールマガジンの購読登録、設定変更、配信停止ができること | | |
| メールマガジン | 908 | メールアドレスの登録、変更時には確認メールが送信され、メール内の本登録URLにアクセスすることで処理が完了されること | | |
| メールマガジン | 909 | 利用者の登録したキーワードによりSDI（新着資料案内）が発行されること | | |
| メールマガジン | 910 | 新着資料案内に使用するキーワードは複数登録することができ、資料種別も複数指定できること | | |
| メールマガジン | 911 | 登録されたキーワードは新着本のタイトル・サブタイトル・著者名から検索されること | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|---------|-----|--|------|----|
| メールマガジン | 912 | 利用者カードを持たない人でもメールマガジンの購読登録ができること 利用者カードを持つ人のみ購読登録できる運用も可能であること | | |
| メールマガジン | 913 | メールマガジンの登録情報（メールアドレス等）を確認ができること | | |
| My本棚 | 914 | 利用者の自分用の本棚に任意の書誌を登録できる機能を有すること | | |
| My本棚 | 915 | 貸出履歴の保存に同意する利用者のみ、貸出履歴を参照できること | | |
| My本棚 | 916 | 貸出履歴の保存に同意するかどうかの画面を用意すること | | |
| My本棚 | 917 | My本棚に登録された資料の一覧を本棚のイメージで表示できること | | |
| My本棚 | 918 | My本棚に登録した書誌をページプリンタで印刷できること | | |
| My本棚 | 919 | 利用者自身で本棚の作成ができること | | |
| My本棚 | 920 | My本棚一覧に表示されているデータをCSVファイルとして出力ができること | | |
| 読書推進機能 | 921 | 読書推進機能として、期間と貸出数目標値をパラメータで指定、もしくは利用者が本人で設定し、達成状況を確認できる機能を用意すること | | |
| 読書推進機能 | 922 | 達成状況を活用したイベント開催を想定した機能であること | | |
| 読書推進機能 | 923 | 達成状況はグラフ等の視覚的な表示ができること | | |
| 読書推進機能 | 924 | 図書館が設定したイベントとして読書マラソン大会を開催できること | | |
| 読書推進機能 | 925 | 読書マラソン大会は利用者区分・地区コード・年齢によって参加対象を制限することができること | | |
| 検索 | 926 | キーワードによる事例の検索ができ、事例検索したいキーワードは一度に3つ入れられること また、ANDまたはORによる掛け合わせ検索が可能であること | | |
| 検索 | 927 | 過去事例の検索は、絞り込み条件として次の条件を指定できること ・調査種別 ・内容種別 ・解決/未解決 ・公開/非公開 ・事例集ジャンル | | |
| 帳票全般 | 928 | 随時作成でき、日報、月報、年報はリアルタイムに処理可能であること また、日報は当日中に出力できること | | |
| 帳票全般 | 929 | 各種統計帳票については、対象となる統計帳票、抽出条件、実行サイクルを設定する等により、印刷データを自動作成することができること 自動作成した印刷データは任意に参照でき、印刷することができること | | |
| 帳票全般 | 930 | 基本的にA4サイズで統一していること | | |
| 帳票全般 | 931 | 抽出条件、打ち出し順の選択の幅が広いこと | | |
| 帳票全般 | 932 | 印字途中での中断、取消、保留、継続が選択できること また、利用者リストなど、大量（30,000件以上）のリスト出力を可能とすること | | |
| 帳票全般 | 933 | 基本的に罫線付きであること | | |
| 帳票全般 | 934 | プレビュー機能で画面で確認できること | | |
| 帳票全般 | 935 | 統計事務等、通常運用とは異なるシステム運用の際には、本市の求めに応じ必要な支援を行うこと | | |
| 帳票全般 | 936 | 定期的（日次、週次、月次、年次）に作成する統計帳票を、毎回抽出条件を設定することなく自動で作成できること | | |
| 帳票全般 | 937 | 蔵書データ、利用者データ、統計データを対象とし、抽出項目、抽出条件、集計単位を任意に指定し、印刷イメージ及びテキストファイルに出力 できること また、作成した抽出パターンは登録可能で繰り返し利用可能なこと | | |
| 帳票 | 938 | 以下の帳票等が印字できること | | |
| 帳票 | 939 | 貸出票 | | |
| 帳票 | 940 | 貸出資料一覧 | | |
| 帳票 | 941 | 予約者連絡表（返却） | | |
| 帳票 | 942 | 利用者リスト | | |
| 帳票 | 943 | 多重登録利用者リスト | | |
| 帳票 | 944 | 団体利用者リスト | | |
| 帳票 | 945 | 未利用利用者リスト | | |
| 帳票 | 946 | 督促リスト | | |
| 帳票 | 947 | 督促はがき | | |
| 帳票 | 948 | 督促連絡依頼票 | | |
| 帳票 | 949 | 長期延滞資料リスト | | |
| 帳票 | 950 | 資料検索結果図書一覧 | | |
| 帳票 | 951 | 資料検索結果図書目録 | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|------|------|---|------|----|
| 帳票 | 952 | 新刊選書リスト | | |
| 帳票 | 953 | 発注済新刊選書リスト | | |
| 帳票 | 954 | 注文リスト | | |
| 帳票 | 955 | 雑誌受入れ予定リスト | | |
| 帳票 | 956 | 受入れリスト | | |
| 帳票 | 957 | 未納品リスト | | |
| 帳票 | 958 | 新着資料リスト | | |
| 帳票 | 959 | 新刊リスト | | |
| 帳票 | 960 | 雑誌受入れリスト | | |
| 帳票 | 961 | 予算執行状況リスト | | |
| 帳票 | 962 | 発注金額集計リスト | | |
| 帳票 | 963 | 受入れ金額集計リスト | | |
| 帳票 | 964 | 図書書名目録 | | |
| 帳票 | 965 | 図書著者名目録 | | |
| 帳票 | 966 | 図書分類目録 | | |
| 帳票 | 967 | 図書件名目録 | | |
| 帳票 | 968 | 雑誌タイトルリスト | | |
| 帳票 | 969 | AVタイトル順目録 | | |
| 帳票 | 970 | AV人名順目録 | | |
| 帳票 | 971 | AV分類目録 | | |
| 帳票 | 972 | AV件名目録 | | |
| 帳票 | 973 | 人名典拠リスト | | |
| 帳票 | 974 | 出版者典拠リスト | | |
| 帳票 | 975 | 件名典拠リスト | | |
| 帳票 | 976 | 図書原簿 | | |
| 帳票 | 977 | 除籍予定リスト | | |
| 帳票 | 978 | 雑誌一括除籍予定リスト | | |
| 帳票 | 979 | 除籍リスト | | |
| 帳票 | 980 | 除籍原簿 | | |
| 帳票 | 981 | 未利用資料リスト | | |
| 帳票 | 982 | 蔵書点検エラーリスト | | |
| 帳票 | 983 | 蔵書点検もれリスト | | |
| 帳票 | 984 | 不明資料リスト | | |
| 帳票 | 985 | 利用統計日報 | | |
| 帳票 | 986 | 利用統計月報 | | |
| 帳票 | 987 | 利用統計年報 | | |
| 帳票 | 988 | 相互貸借月報 | | |
| 帳票 | 989 | 相互貸借年報 | | |
| 帳票 | 990 | 曜日別利用統計年報 | | |
| 帳票 | 991 | 地区別利用登録者集計 | | |
| 帳票 | 992 | 地区別利用冊数 | | |
| 帳票 | 993 | 団体貸出年報 | | |
| 帳票 | 994 | 雑誌別貸出冊数集計 | | |
| 帳票 | 995 | 蔵書統計年報 | | |
| 帳票 | 996 | 受払年報 | | |
| 帳票 | 997 | 自由帳票では帳票の集計条件指定・改ページ条件指定や帳票出力項目の出力行・出力列指定ができること また指定した条件を保存し、再度同じ条件で帳票作成することができること | | |
| 帳票 | 998 | ベストリーダー | | |
| 帳票 | 999 | 予約ベスト | | |
| 帳票 | 1000 | AV利用状況リスト | | |
| 帳票 | 1001 | 雑誌別予約件数集計 | | |
| 帳票 | 1002 | 貸出予約状況年報 | | |
| 帳票 | 1003 | 広域利用統計 | | |
| 帳票 | 1004 | 資料回送統計 | | |
| 帳票 | 1005 | 蔵書点検発見資料リスト | | |
| 帳票 | 1006 | 分類別蔵書冊数集計 | | |
| 帳票 | 1007 | 保管場所別蔵書冊数集計 | | |
| 帳票 | 1008 | 特殊貸出統計 | | |
| 帳票 | 1009 | 再発行利用者リスト | | |
| 帳票 | 1010 | 除籍利用者リスト | | |
| 帳票 | 1011 | 寄贈資料リスト | | |
| 帳票 | 1012 | 雑誌JANコードリスト | | |

| 処理機能 | 項目 | 要求機能 | 対応可否 | 備考 |
|------|------|--------------|------|----|
| 照票 | 1013 | 蔵書場所別種別統計 | | |
| 照票 | 1014 | 移動統計年報 | | |
| 照票 | 1015 | 移動統計月報 | | |
| 照票 | 1016 | 移動統計日報 | | |
| 照票 | 1017 | 地区別予約件数集計 | | |
| 照票 | 1018 | 予約在庫リスト | | |
| 照票 | 1019 | 請求記号別貸出冊数集計 | | |
| 照票 | 1020 | 請求記号別予約冊数集計 | | |
| 照票 | 1021 | 地区別パスワード登録集計 | | |
| 照票 | 1022 | 時間帯別利用統計 | | |
| 照票 | 1023 | 公共図書館調査票 | | |
| 照票 | 1024 | コメント別利用者リスト | | |
| 照票 | 1025 | 受取館別予約統計 | | |
| 照票 | 1026 | 雑誌タイトル別貸出ベスト | | |
| 照票 | 1027 | 雑誌タイトル別統計 | | |